

手輪

VI

創立六十五周年
法人設立三〇周年

記念出版

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

年輪Ⅵ 目次 (2017年2月発行予定であったものです：未発行)

記念誌発行によせて

刊行のことば	公益社団法人 大阪府臨床検査技師会	会長	竹 浦 久 司
祝辞	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会	会長	宮 島 喜 文
祝辞	大阪府知事		松 井 一 郎
祝辞	大阪府市長		吉 村 洋 文
祝辞	一般社団法人 大阪府医師会	会長	茂 松 茂 人
祝辞	一般社団法人 大阪府薬剤師会	会長	藤 垣 哲 彦
祝辞	公益社団法人 大阪府看護協会	会長	高 橋 弘 枝

大臨技のあゆみ (Ⅰ)・(Ⅱ) 1950年(昭和25年)～2016年(平成28年)

大臨技の組織・地区・地区割 2009年(平成21年)～2016年(平成28年)

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会の組織

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 地区・地区割

第1部 特集

- ・大阪府臨床検査技師会の公益社団法人への移行
- ・献血推進活動
- ・大臨技臨床検査データ標準化事業
- ・新入会員研修会
- ・府民健康フォーラム
- ・大臨技・大放技合同フォーラム
- ・看護フェスタおおさか
- ・がん(検診)フォーラム
- ・マタニティカーニバル
- ・日臨技事業(検体採取講習会)
- ・日臨技事業(検査説明・相談ができる臨床検査技師養成講習会)
- ・日臨技事業(全国検査と健康展)
- ・日臨技事業(がん検診啓発予防事業)
- ・HIV 予防啓発講演会
- ・会計(平成20年度～平成27年度)

第2部 大阪で開催された学会

- ・第55回日臨技近畿支部医学検査学会(平成27年度)
 - 1) 学会日程
 - 2) 一般演題および特別企画
 - 3) 学会の参加者
 - 4) 学会の運営

第3部 資料(平成21年度～平成28年度)

- ・大阪府臨床検査技師会 役員

- 日臨技永年職務奨励者表彰受賞者
- 各賞受賞者
- 総会

The 65th anniversary of establishment
The 30th anniversary of corporate establishment

手輪

刊行のことば、祝辞



刊行にあたって

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
会長 竹浦 久司

当会は、1950年に施行された「大阪府細菌検査条例」を受けて10月に結成された「大阪府細菌検査協会」を源流とする。1959年に「衛生検査技師法」が成立され、名実ともに技術者会からの技師が中心となる1962年「大阪府衛生検査技師会」、1977年3月に当会が「大阪府臨床衛生検査技師会」と改称、改組が行われました。1970年に「臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律」が制定され、ここに臨床検査技師が誕生しました。1985年に社団法人設立許可が下り、2003年10月と改称を重ね、2013年に現在の公益社団法人大阪府臨床検査技師会になりました。

当会は、3,600名の会員を擁する職能団体として、急速に高齢化が進展する中、府民の医療や健康に対するニーズも多様化しており、その基礎となる地域医療の果たすべき役割は年々増加しています。その中で臨床検査を通じ、大阪府民の健康と活力を支えていきたいと思えます。

それには日々最新医療の知識や技術の習得に努め安全で安心な医療を目指して会員の資質向上を図りたいと考えています。会員一人ひとりが臨床検査のプロフェッショナルとしての学術研鑽をすることはもとより、臨床検査を広く府民に認識していただくことが大切であると実感しています。

「年輪VI」は2008年から2017年までの記録を収載したものです。この約10年間におきましてもそれまで同様定款に従い多くの事業を行ってきました。臨床検査技師の学術研鑽のための各種研修会の開催はもちろんのことですが、府民健康フォーラム、献血活動など大阪府民の健康の保持と増進に寄与するための公益事業も数多く行ってきました。新たな取り組みとしては、次世代の臨床検査技師を育てることで大臨技医学検査学会を行ないました。

臨床検査技師の唯一の職能団体として名実ともに社会に貢献することができるようこれからも努力するつもりでございます。どうかよろしくご支援の程、お願い申し上げます。

最後に、念願であった「年輪VI」を刊行することができたことは大きな喜びであり、同時にこのような巡り合わせたことに深謝いたします。刊行に際してご執筆を賜った関係各位、総務部を中心に編集の労を取られましたスタッフの皆さまへ感謝申し上げます。



創立65周年・法人化30周年記念誌 発刊に寄せて

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 宮島 喜文

この度、貴会が法人設立30周年・技師会創立65周年を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げます。

昭和期から今日に至る長き道程の中で、法人団体としての組織運営基盤を整備し、社会的に認知度を広め、臨床検査技師の制度・身分の確保及び学術の振興・技術の研鑽にご尽力いただいた先輩諸氏の皆様のご労苦に敬意を表します。

また、貴会は大阪府における臨床検査技師の唯一の学術・職能団体として、3000名を越す会員を擁し、日頃の学術研修会を始め、支部医学検査学会、平成18年には第55回日本医学検査学会を担当されるなど会員の資質向上に努めて参りました。さらに、行政機関や医療団体等と緊密な連携の下に精度管理調査事業や「がん予防フォーラム」や「健康と検査展

など公益事業に積極的に取り組み、多くの実績と成果を挙げられました。このように日本臨床衛生検査技師会の各種事業との連携を図り、技師会活動を充実され、優秀な人材を多く輩出されています。

さて、我が国の急速に進む超少子・高齢化時代において、医療・介護の重要性は益々高く、国はその需要を担うためにチーム医療を推進する方向が示されています。

平成17年には臨床検査技師等に関する法律（以下、臨技法と略す）が改正され、臨床検査技師の業務も「医師の指導監督の下」から「医師の具体的な指示の下」となりました。業務遂行上においての自立性が確保された一方、責任も重くなっています。さらに、平成26年には臨床検査技師等に関する法律が一部改正され、新たに検体採取業務が追加されました。このことにより、病院など診療機関においては、検査説明から検体採取、検査の実施、報告書の作成、検査結果の報告まで一貫した検査業務が臨床検査技師となっています。

そして勤務場所も検査室だけでなく、病棟や外来、さらには在宅など診療現場での活動が臨床検査の品質向上とチーム医療推進の観点から求められおり、貴会における会員の皆様への一層の普及啓発や技術支援に期待しております。

日本臨床衛生検査技師会においても、医療人として教育研修を充実し、広く社会で認められ活躍できる臨床検査技師の育成に努め、貴会をはじめとする都道府県臨床検査技師会と

連携を深め、臨床検査を通じて国民に対し、安全で安心できる医療の提供に寄与してまいりますので、今後ともご支援ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

貴会がさらに地域社会に貢献され、医療団体として益々発展されますと共に、会員の皆様のさらなるご活躍を祈念いたします。

平成28年11月吉日



祝辞

大阪府知事 松井 一郎

公益社団法人大阪府臨床検査技師会の技師会創立65周年、法人化30周年、を迎えられましたことに対し、心よりお慶び申し上げます。

貴会は、昭和25年に創設されてより、臨床衛生検査業務に、たずさわる方々の拠り所となり、講習会や研修会を開催するなど会員の技術や資質の向上に、たゆまぬ努力を続けてこられました。昭和61年の社団法人への改組を経て、平成25年よりは公益社団法人認定を受け、公益社団法人として、ますます、意欲的に、地域医療や公衆衛生の向上に大きく貢献されております。歴代役員の方や会員の皆さまの業績の賜物と深く敬意を表する次第でございます。

臨床検査は、疾病の診断・治療方針決定や経過観察、また予防医学の健診において必要不可欠な検査です。迅速かつ質の高い医療確保のため、「精度管理に保障された、正確な検査結果の提供」は、今後ますます重要となっていくものと思われまます。

平成20年より、貴技師会では、「どの医療施設で測定しても、同じ測定結果が得られる」ことを目標に、臨床検査データの標準化事業に取り組み、成果を上げておられます。

さらに、貴会においては、既卒者に対する研修を多数開催、検査技術の研鑽に、積極的に取り組まれています。特に、昨年4月よりは、臨床検査技師による検体採取が可能になったこと、また、現場で説明できる臨床検査技師を目指し、研修会を開催、多くの会員が受講されていると御聞きしております。医療現場における専門職としての臨床検査技師の職能へ、ますます期待の高まるところでございます。

貴会におかれましては、検査能力の向上のため検査技術の研鑽と精度管理の徹底に今後とも引き続き御尽力いただき、大阪府の健康医療行政の推進に一層の御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々の御発展と皆さまの御健康・御活躍をお祈りいたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



お祝いのことば

大阪市長 吉村 洋文

大阪府臨床検査技師会が創立65周年、法人設立30周年の節目を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。皆様方には、平素から大阪市政の各般にわたり格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

貴会におかれましては、昭和25年の創立以来、臨床検査技師の学術技能の研鑽を行うとともに、地域医療および公衆衛生の向上を図られ、平成25年には公益社団法人としての認定を受け新たな一歩を踏み出されました。本市として、市民の健康の保持、増進に大きく貢献してこられたことに、敬意と感謝の意を表します。

さて、臨床検査は医療の高度化を反映して、さまざまな検査項目や検査法が導入されており、検査における精度管理の重要性についての市民の認識もいっそう高まっている状況でございます。現在、この検査精度の維持・向上のため、貴会には高度な専門知識及び精度管理に関して相当の学識経験を有する会員の皆様方をご推薦いただき、本市が実施する衛生検査所の精度管理指導業務において精度管理専門委員としてご参画いただいております。本市といたしましては、市民が求める安全かつ良質な医療を提供するために不可欠な精度管理指導業務への参画により、市民が医療への信頼を構築するうえで大変重要な役割を担っていただいているものと認識しております。

また、臨床検査技師の皆様は、多くの方が医療機関や検査センターでの検査業務を担われておりますが、近年は治験コーディネーターや医療機器メーカーのスペシャリストとして存在感を示される方も増加しており、それぞれの分野でご活躍されていることと存じます。こうした中、皆様の代表的な活躍の場である医療現場でも、臨床検査技師としての専門的な立場から、検査情報を正確に分析・評価することを通じて感染制御チームなど、様々なチーム医療への積極的なご参画により、安心、安全な医療の推進にご協力いただいております。

さらに、竹浦会長はじめ関係の皆様方におかれましては、各種の講習会、講演会などを活発に開催され、臨床検査技師をはじめとする多くの方々に最新の情報や研修の機会を提供されるなど、直接間接に臨床検査技師の資質向上に努めることを通じて、大阪府域の保健衛生施策の推進に多大なご協力をいただいております。皆様方のご熱意とたゆまぬご努力に深く敬意を表します。

皆様方には、さらなる活動の進展を図られますとともに、市民の保健、医療の充実と向上に貢献いただきますようご期待申し上げます。

本市といたしましても、全ての市民がすこやかでこころ豊かに生活できる活力あるまち・健康都市大阪の実現をめざしてまいりますので、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立65周年、法人設立30周年を機として、大阪府臨床検査技師会がこれまでの歴史と実績を礎に今後一層発展されますよう、また、皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申しあげまして、お祝いのことばといたします。



お祝いのことば

大阪府医師会長 茂松 茂人

大阪府臨床検査技師会創立65周年、並びに法人設立30周年、誠におめでとうございます。大阪府医師会を代表し、心からお慶びを申し上げます。

大阪府臨床検査技師会におかれましては、臨床検査を通じて府民の健康保持に努められるとともに、臨床検査の知識向上と検査技術の向上にご尽力されておられますことに、深く敬意を表する次第であります。また、我々大阪府内の医療関係団体等で組織しております大阪府地域医療推進協議会の活動におきましては、府民が安心して医療を受けることができるように、国民皆保険制度の堅持や国民医療の充実・強化等に、多大なるご尽力を頂いておりますことに、感謝の意を申し上げます。

臨床検査は、患者さんの健康を守るためには大変重要であり、疾患の診断、治療、早期発見や予防になくはならないものであります。患者さんが健康になり、幸福な生活をしていただくことは我々の願いでもあります。

我々医療者は、進展する医療技術を習得し、安全で安心な医療を提供すべく努めなければならないと考えております。

さて、現在、急速な少子高齢化の進展により、医療や介護の需要が急速に高まってきております。大阪府では、2025年には75歳以上人口が150万人となり、ほぼ倍増するとの推計も示されております。

このような状況にあって、国は、地域包括ケアシステムを構築し、在宅医療を推進させるとともに、病床機能報告制度や地域医療構想の策定を進めております。社会保障費の削減につながりかねないこれらの医療改革には、注視していかなければなりません。府民の健康を守るためには、社会保障を充実させるなど、健康への投資が必要であると考えております。

私ども大阪府医師会は、今後も大阪府地域医療推進協議会をはじめとする医療関係団体の方々との交流に努め、経済優先の施策ではなく患者の健康と幸福を目指して、すべての国民が安心して安全な医療が受けられるよう鋭意努力してまいりますので、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後になりましたが、大阪府臨床検査技師会におかれましては、創立65周年という節目を契機といたしまして、より一層飛躍されますよう、また、貴会役員並びに会員の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



祝辞

一般社団法人 大阪府薬剤師会
会長 藤垣 哲彦

大阪府臨床検査技師会が創立65周年並びに法人設立30周年を迎えられましたことを衷心よりお祝い申し上げます。

これもひとえに竹浦久司会長をはじめ歴代会長・役員及び会員の皆様のご尽力の賜物と敬意を表します。

貴会は、昭和25年に施行された「大阪府細菌検査取締条例」を受けて結成されました「大阪細菌検査協会」を嚆矢とされ、公衆衛生の向上が最優先された当時としては名称を衛生検査技師そして臨床衛生検査技師会と繋ぎ、昭和53年には「大阪府臨床衛生検査技師会と改称されました。時代の要請にともなって、昭和61年には「社団法人大阪府臨床検査技師会が誕生されました。

さて、医療の中で重要な位置づけとなる臨床検査技師の業務は、大きな分類として尿・血液・組織を採取する検体検査と臓器の動きを電氣的に捉えることや臓器の状態を画像等にして評価を表す生理機能検査があり、医師の診断や治療方針の決定に欠かせない業務であることと同時に医療の質の向上を図ってきた要因の一つでもあります。

一方、わが国の社会的課題として、65歳以上が人口の約4割を占める超少子高齢時代に突入し、財政維持の観点から持続可能な社会保障制度を堅持していくために医療・介護・福祉のあり方についても大きな変革の時期を迎えています。我々薬剤師会におきましても、2025年に向けて地域の関係機関等との連携を構築し、検診等をすすめる受診勧奨や予防等の相談会を推進する健康サポート機能を備えた「かかりつけ薬剤師・薬局」が求められています。高度な薬物管理や在宅医療・介護を含む地域への貢献は今後ますます必要とされます。そのような中、府民への周知活動の一環として、臨床検査技師会と栄養士会と共に取り組む府民フォーラムは開始して11年が経過しました。一つのテーマに対して三者が特徴を共に出し合い、府民の健康をサポートすることで、健康づくりや疾病の重症化防止に役立つ貢献がより一層期待されています。

また、最近では、薬物治療を行なう上でも検査値の活用が重要視され、処方せんに検査値を印字する動きがあります。院内ではすでに電子カルテに集約された患者情報や臨床検査値を活用しながら処方監査や服薬指導を行なっている現状からすると、地域で入手される情報には限りがあり、この処方箋へ印字する動きは大いに歓迎されるもので、今後、この活用方法について臨床検査技師の先生方との密なる連携を構築していきたいと考えております。

最後になりましたが、大阪府臨床検査技師会が今後ますます発展されますとともに、会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。



祝辞

公益社団法人 大阪府看護協会
会長 高橋 弘枝

公益社団法人大阪府臨床検査技師会が、創立65周年・法人設立30周年を迎えられましたこと、大阪府看護協会を代表して心からお慶び申し上げます。

貴会は社会や医療の有り様が激変する中であっても、歴代の役員の皆様をはじめ会員各位のご努力と英知により、65年という長きにわたって幾多の困難を乗り越え、社会に大きく貢献してこられたことに深く敬意を表します。

現在わが国では、どこにいても自分らしい生活を送ることができ、最期まで自分らしく生きるための社会保障制度改革や、2025年を見据えた「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。看護の役割は人々の「生活と医療」を支えることです。日本看護協会では、2025年に向けた看護の挑戦として“いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護”の『看護の将来ビジョン』を表明しました。このビジョンでは、私たち看護職が専門職として、「医療」と人々の「生活」の両方の視点を持って実践する看護の元来の機能をいっそう強化して、“生活の中の医療”を実現するための役割が示されています。

臨床検査は種類も多種多様で、疾病予防から、診断・治療方針の決定・予後の決定等になくはないものであり、正確かつ精度の高い検査データの提供が求められます。地域包括ケアシステムの推進に伴い看護の場も病院から地域へと拡大、臨床検査が安全に正確に行えるよう看護職も尽力していますが、対象も高齢者だけでなく、妊産婦や障害を持った小児、働きながら治療を続ける方々など全世代にわたっています。医師とのダックはもとより、臨床検査技師の皆様との情報共有と連携を図り、安全に安楽に、そして安心して検査を受けていただき、精度の高い検査結果をふまえた最善の医療の提供が不可欠です。

大阪府看護協会では、「看護の心パワーで、大阪を一層ご機嫌な街に！」をモットーに、5万人を超える会員が様々なフィールドで活動しております。これからも、大阪府民の明るい未来、安全・安心な暮らしを守り支えるために、貴会の皆様と一層の連携強化を行い、地域医療ならびに公衆衛生の向上に貢献していきたいと思っております。

最後になりましたが、この栄えある創立65周年、法人設立30周年という節目を契機とされ、公益社団法人大阪府臨床検査技師会が、府民の幸せと会員の未来のために頼りになる組織として、より一層の発展を遂げられますことを心から祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

The 65th anniversary of establishment
The 30th anniversary of corporate establishment

年輪

大臨技のあゆみ

年表 社団法人大阪府臨床検査技師会のあゆみ (I-1)

(創立55周年記念誌「年輪V」から転載・修正加筆)

第Ⅰ部 前史 (昭和25年以前)	明治 20年	桃山病院開院
	明治 30年	石神研究所 (私立伝染病研究所) 創立
	大正 6年	財団法人竹尾結核研究所創立
	大正 9年	鳥潟免疫研究所 (鳥潟病院) 創立
	大正 10年	大阪細菌研究所創立
	大正 14年	大阪実験治療研究所創立 (目黒研究所)
	昭和 元年	有馬研究所 (有研) 創立
	昭和 2年	大阪血清微生物研究所創立
	昭和 9年	大阪大学微生物研究所創立
	昭和 19年	宮城県細菌検査研究協議会結成
	昭和 23年	全国国立療養所病理試験技術者協議会結成 神奈川県細菌協会結成
	昭和 25年	国立東京第一病院中検制度導入 大阪府細菌検査取締条例の施行
	第Ⅱ部 技術者の発足 (昭和25年～ 昭和34年)	昭和 25年
昭和 26年		近畿地方国立病院療養所衛生検査技術者会結成 日本衛生検査技師協会創立 (全医労会館)
昭和 27年		近畿地方衛生技術者協会結成総会 (大阪府衛研) 日本衛生検査技術者会創立、第1回学術研究会 (名古屋) 「衛生検査」創刊号発行 日本衛生検査技術者会大阪支部発足
昭和 28年		第2回学術研究会・日本衛生検査技術者会総会 (東京)
昭和 29年		日本衛生検査協会に改称 第3回日本衛生検査学会 (大阪・大阪大学医学部) 第1回日本臨床病理学会・稔会 第1回臨床病理技術士 (二級) 資格認定試験実施 奥和田正一会長就任
昭和 30年		第4回日本衛生検査協会総会・学会 (松本)
昭和 31年		日衛協大阪支部会員を大阪細菌検査協会の第3項会員にすると規約を改正 第5回日本衛生検査協会総会・学会 (小田原) 衛生検査技師法案国会提案・継続審議
昭和 32年		第6回日本衛生検査協会総会・学会 (広島) 病理細菌検査技師法案国会提案・継続審議
昭和 33年		衛生検査技師法案自民社会共同提案で衆議院可決 衛生検査技師法可決成立・同法公布 第7回日本衛生検査協会総会・学会 (東京)
昭和 34年		第8回日本衛生検査協会総会・学会 (新潟) 衛生検査技師国家試験受験準備講習会 (阪大北講堂) 第1回衛生検査技師国家試験実施
第Ⅲ部 技師会の独立 (昭和34年～ 昭和38年)	昭和 34年	日本衛生検査協会大阪支部設立総会 (大阪府衛研)
	昭和 35年	第9回日本衛生検査協会総会・学会 (名古屋) 「衛生検査ジャーナル」第1号発行 奥和田正一会長勇退、小林種一会長就任
	昭和 36年	第10回日本衛生検査協会総会 (解散総会) 日本衛生検査技師会創立総会・学会 (豊島公会堂) 「衛生検査」を日本衛生検査技師会雑誌と改称 日本衛生検査技師会大阪支部と改称 近畿ブロックの集い (国立大阪病院)
	昭和 37年	第11回日本衛生検査技師会総会・学会 (青森) 衛生検査技術カンファレンス (京大医学部)
	昭和 38年	社団法人日本衛生検査技師会誕生 大阪府衛生検査技師会と改称 第12回日本衛生検査技師会総会・学会 (東京) 第1回法改正対策委員会 第3回近畿検査学会 (兵庫)
第Ⅳ部 技師会の躍動 (昭和39年～ 昭和45年)	昭和 39年	第13回日本衛生検査技師会総会・学会 (福岡) 第1次臨調で衛技の中間答申部分削除 国立病院・療養所に技師長制制度化 第4回近畿学会 (奈良)
	昭和 40年	第14回日本衛生検査技師会総会・学会 (岡山) 全国血液化学研究斑発足・第1回コントロールサーベイ実施 第5回近畿学会 (京都)

年表 社団法人大阪府臨床検査技師会のあゆみ (I-2)

(創立55周年記念誌「年輪V」から転載・修正加筆)

第Ⅳ部 技師会の躍動 (昭和39年～ 昭和45年)	昭和 41年	第15回日本衛生検査技師会総会・学会 (大阪) 衛生検査技師法改正3ヵ年計画設定 第1回小島三郎記念技術賞 第6回近畿学会 (和歌山)
	昭和 42年	第16回日本衛生検査技師会総会・学会 (東京) 衛生検査技師法改正要綱を作成 第7回近畿学会 (大阪) 「大臨技会報」第1号発行
	昭和 43年	第17回日本衛生検査技師会総会・学会 (札幌) 第8回近畿学会 (兵庫)
	昭和 44年	無料職業紹介所認可 全国技師会会長会議 第18回日本衛生検査技師会総会・学会 (名古屋) 第9回近畿学会 (京都) 第1回親善野球大会開催
	昭和 45年	第19回日本衛生検査技師会総会・学会 (徳島) 創立20周年記念式典・記念誌「年輪I」発行 衛生検査技師法改正案参議院本会議通過成立 臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律 (法律第83号) 公布 国際検査技師会 (IAMLT) 加盟 第10回近畿学会 (奈良)
第Ⅴ部 臨床検査技師 の誕生 (昭和46年～ 昭和55年)	昭和 46年	第20回日本衛生検査技師会総会・学会、20回記念式典 (新潟) 第1回臨技指定講習会実施 (関大天六舎、他) 第1回臨床検査技師国家試験実施 第11回近畿学会 (滋賀)
	昭和 47年	第21回日本衛生検査技師会総会・学会 (大分) 日本衛生検査技師会史刊行 国際医学検査技師会 (IAMLT) 会議へ代議員参加 第12回近畿学会 (兵庫)
	昭和 48年	第22回日本衛生検査技師会総会・学会 (仙台) 第13回近畿学会 (大阪)
	昭和 49年	第23回日本衛生検査技師会総会・学会 (神戸) 小林種一会長勇退、前田宏明会長就任 第14回近畿学会 (和歌山)
	昭和 50年	第24回日本衛生検査技師会総会・学会 (横浜) 日本医療技術者団体連絡協議会発足 第15回近畿学会 (京都)
	昭和 51年	第25回日本衛生検査技師会総会・学会 (秋田) 第16回近畿学会 (奈良)
	昭和 52年	第26回日本衛生検査技師会総会・学会 (長崎) 社団法人日本臨床衛生検査技師会と改称 大阪府臨床衛生検査技師会と改称 ニチマンビルに新事務所開設 第17回近畿学会 (滋賀) 第1回大臨技スキーツアー開催
	昭和 53年	第27回日本臨床衛生検査学会 (京都) 第18回近畿学会 (福井)
	昭和 54年	第28回日本臨床衛生検査学会 (松本) 第19回近畿学会 (大阪)
	昭和 55年	第29回日本臨床衛生検査学会 (札幌) 会長・副会長・監事公選制実施 前田宏明会長勇退、松永清輝会長就任 国際医学検査技師会 (IAMLT) 総会・学会の日本開催決定 (1988) 臨床検査技師・衛生検査技師等に関する法律の一部改正 第20回近畿学会 (兵庫) 大臨技創立30周年記念式典 卒後教育プロジェクト委員会設置

年表 社団法人大阪府臨床検査技師会のあゆみ (II-1)

(社団法人設立の準備と法人化30年の歩み)

法人化への道のり (昭和56年～昭和60年)	昭和 56年	第30回日本臨床衛生検査学会 (静岡) 大臨技卒後・生涯教育講座開講 第21回近畿臨床衛生検査学会 (京都)
	昭和 57年	第31回日本臨床衛生検査学会 (福岡市) 大臨技臨床化学検査部会標準化検討委員会発足 大臨技会報100号記念号発行 栄養士会主催「健康栄養展」を後援 第22回近畿臨床衛生検査学会 (和歌山市)
	昭和 58年	第32回日本臨床衛生検査学会・日臨技法人設立20周年記念式典・祝賀会 (岡山市) 厚生大臣表彰 (大阪4名) 大臨技創立30周年記念誌「年輪II」発行 第23回近畿臨床衛生検査学会 (奈良市)
	昭和 59年	第33回日本臨床衛生検査学会 (名古屋市) 大臨技定期総会で法人化を議決 大臨技主催第1回「臨床検査展」開催 (阪神百貨店) 第24回近畿臨床衛生検査学会 (大津市)
	昭和 60年	第34回日本臨床衛生検査学会 (盛岡市) 社団法人大阪府臨床衛生検査技師会設立総会 (8月) 社団法人設立許可申請書提出 (9月) 社団法人設立許可 (12月25日) 第25回近畿臨床衛生検査学会 (福井市) 卒後生涯教育講座5年目に入る
公益法人としての歩み (昭和61年～平成2年)	昭和 61年	社団法人設立登記完了 (1月) 社団法人大阪府臨床衛生検査技師会誕生 大臨技スキーツアー10周年 社団法人大阪府臨床衛生検査技師会設立記念式典・祝賀会 (太閤園 4月) 第35回日本臨床衛生検査学会 (岐阜市) 臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正する省令公布 大臨技事務所改修工事 大阪府衛生検査所精度管理責任者講習会 (9月延べ7日間) 第26回近畿臨床衛生検査学会 (神戸市) 日臨技代議員制施行 第1回代議員会 (東京) 大臨技事務所にコンピュータ導入
	昭和 62年	第36回日本臨床衛生検査学会 (鹿児島市) 大臨技社団法人設立記念誌発行 臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律施行規則の一部を改正による 国家試験の一元化 茨木市、吹田市「健康展」に初めて参加 第27回近畿臨床衛生検査学会 (大阪市 11月29日) 臨床工学技士法成立 大阪府精度管理専門委員会設置
	昭和 63年	松永清輝会長勇退、川原浩二新会長就任 社団法人日本臨床衛生検査技師会法人設立25周年記念式典・祝賀会 (神戸市 4月30日) 厚生大臣表彰 (大阪5名) 第37回日本臨床衛生検査学会 (神戸市 7月16・17日) 第18回国際医学検査技師会 (IAMLT)学会 (神戸国際会議場 7月17日～22日) 第1回臨床工学技士指定講習会 (5月～9月延べ17日間) 第1回臨床工学技士国家試験監督員を派遣 第28回近畿臨床衛生検査学会 (和歌山) 「大臨技ニュース」第1号発行
	平成 元年	第38回日本臨床衛生検査学会 (郡山市) 日臨技 検査における感染防止と医療廃棄物講習会 管理運営協議会10周年記念講演会 第1回新入会員研修会 日臨技 血液・細胞研修会大阪で開催 第29回近畿臨床衛生検査学会 (京都)
	平成 2年	川原浩二会長勇退、柳瀬彦三新会長就任 第39回日本臨床衛生検査学会 (水戸市) 国際花と緑の博覧会の会場検査室運営を担当 厚生省「医療廃棄物処理に関する講習会」を大阪で開催 第2回臨床工学技士指定講習会 (19日間) 第1回技師長会 大臨技創立40周年・法人設立5周年記念式典・祝賀会

年表 社団法人大阪府臨床検査技師会のあゆみ (II-2)

(社団法人設立の準備と法人化30年の歩み)

公益法人
としての歩み
(平成3年～
平成11年)

平成 2年	第1回会員交流会 (第4回から「検査フォーラム」と改称) 第30回近畿臨床衛生検査学会 (奈良市)
平成 3年	日臨技医療廃棄物処理講習会担当 第40回日本臨床衛生検査学会 (金沢市) 大臨技シンボルマークを設定 普賢岳災害の義援金を被災地島原に贈る 第3回臨床工学技士指定講習会 (19日間) 第31回近畿臨床衛生検査学会 (米原町)
平成 4年	第41回日本臨床衛生検査学会 (熊本市) 日臨技生涯教育研修手帳配布 不合格者を対象とする第1回国家試験対策講座 (34日間) 第4回臨床工学技士指定講習会 第32回近畿臨床衛生検査学会 (福井市) 社団法人日本臨床衛生検査技師会法人設立30周年記念式典・祝賀会 (東京都) 厚生大臣表彰 (大阪3名)
平成 5年	第42回日本臨床衛生検査学会 (札幌市) 日臨技標準化事業尿沈渣講習会担当 第1回大臨技公開講座 臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律の一部改正 生理学的業務拡大 名誉会員小林種一先生逝去 第33回近畿臨床衛生検査学会 (大阪市 10月23・24日) 第1回献血推進活動
平成 6年	柳瀬彦三会長勇退、小林紀崇新会長就任 第43回日本臨床衛生検査学会 (松山市) 生理学的検査業務拡大特別講演会 (大阪医大・近大) 名誉会員故小林種一先生追悼集会 第34回近畿臨床衛生検査学会 (神戸市)
平成 7年	「阪神大震災」発生 救援活動に積極的に対応、参加 第44回日本臨床衛生検査学会 (山形市) 第47回日本臨床衛生検査学会立候補 (5月8日) 第1次学会調査委員派遣 学会準備委員会設置 (8月) 大臨技創立45周年・社団法人設立10周年記念式典・祝賀会 記念誌「年輪II」発行 第35回近畿臨床衛生検査学会 (和歌山市)
平成 8年	第45回日本臨床衛生検査学会 (千葉市) 第47回日本臨床衛生検査学会 (平成10年) 担当決定 学会実行委員会設置 第2次学会調査委員派遣 第1回大臨技テニス大会開催 第1回学会企画委員会 (東京 8月30日) 第2回学会企画委員会 (大阪 10月26日) 第1回府民健康講座開催 第1回手話講座開催 第36回近畿臨床衛生検査学会 (京都市)
平成 9年	社団法人日本臨床衛生検査技師会法人設立35周年記念式典・祝賀会 (東京都 4月26日) 厚生大臣表彰 (大阪5名) 第46回日本臨床衛生検査学会 (名古屋市) 第3次学会調査委員会 (調査団) 派遣 大阪府下16地区を北・中央・南支部として再編成 学会特別企画打合せ会 (大阪 6月7日) 第1回学会展示説明会 (東京 8月22日) 第37回近畿臨床衛生検査学会 (奈良市)
平成 10年	第2回学会展示説明会 (大阪 2月19日) 第47回日本臨床衛生検査学会「なにわから未来への提言」 (大阪市 5月7・8日) 第38回近畿臨床衛生検査学会 (草津市) 第40回近畿臨床衛生検査学会 (平成12年) 担当決定
平成 11年	日本臨床検査技師連盟発足 第40回近畿臨床衛生検査学会第1回実行委員会 第48回日本臨床衛生検査学会 (広島市) 大臨技ホームページ開設 第39回近畿臨床衛生検査学会 (福井市) 大臨技が日本赤十字社献血功労団体として表彰

年表 社団法人大阪府臨床検査技師会のあゆみ (II-3)

(社団法人設立の準備と法人化30年の歩み)

公益法人
としての歩み
(平成12年～
平成19年)

平成 12年	小林紀崇会長勇退、朝山均新会長就任 第1回大放技・大臨技合同フォーラム開催 第49回日本臨床衛生検査学会（沖縄県宜野湾市） 大臨技創立50周年・法人設立15周年記念式典・祝賀会 第40回近畿医学検査学会（大阪国際交流センター） 〔近畿臨床衛生検査学会を改称〕（10月28・29日） 記念誌「年輪Ⅳ」発行
平成 13年	日臨技総合情報システム（JAMTIS）運用開始 第50回日本医学検査学会（東京都）〔日本臨床衛生検査学会を改称〕 第3回東アジア競技大会大阪大会のドーピングコントロールに協力 第41回近畿医学検査学会（神戸市）
平成 14年	社団法人日本臨床衛生検査技師会創立50周年・法人化40周年記念講演会・ 記念式典・祝賀会（東京都 1月25日） 厚生大臣表彰（大阪3名） 「大臨技ニュース」の紙面一新 第51回日本医学検査学会（仙台市） 大臨技が献血推進活動の功勞により厚生労働大臣感謝状を授与 第42回近畿医学検査学会（和歌山市） 厚生労働省にて臨床検査技師、衛生検査技師に関する在りかた等検討会スタート
平成 15年	厚生労働省にて臨床検査技師、衛生検査技師に関する在りかた等検討会 中間報告書成文化 第1回大臨技フォーラム開催 大臨技定期総会で大臨技名称変更を決議 第52回日本医学検査学会（さいたま市） 大臨技名称変更申請（6月24日） 大臨技名称変更許可（7月30日） 第1回糖尿病療養指導士講演会開催 社団法人大阪府臨床検査技師会と改名（10月1日） 第43回近畿医学検査学会（京都市）
平成 16年	朝山均会長勇退、森嶋祥之新会長就任 第1回臨床検査教育機関懇談会開催 第53回日本医学検査学会（富山市） 日本臨床検査標準協議会（JCCLS）「標準採血法ガイドライン（第1版）」策定 大臨技ホームページ掲載要項策定 第44回近畿医学検査学会（奈良県橿原市） 国民医療を守る大阪府民集会（大阪府地域医療推進協議会主催）開催
平成 17年	大臨技チーム医療推進委員会発足 臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律の一部を改正する法律「改正法」公布 （5月2日） 第54回日本医学検査学会（京都市） 「看護の日」記念行事に協力（以後、毎年） 大臨技ホームページに大臨技理事会議事録を掲載開始 第45回近畿医学検査学会（滋賀県大津市） 第1回府民健康フォーラム（社）大阪府薬剤師会・（社）大阪府臨床検査技師会・ （社）大阪府栄養士会主催）開催 大臨技国際貢献専門委員会発足 （JICA事業に協力し仏語圏アフリカ諸国よりの研修生受け入れ検討）
平成 18年	大臨技創立55周年・法人設立20周年記念式典・祝賀会（2月4日） 臨床検査技師、衛生検査技師に関する法律の一部を改正する法律「改正法」施行 （4月1日） 国会において「公益法人制度改革関連3法」成立 第55回日本医学検査学会（鳥根県松江市） 第1回NST・褥瘡部会講演会開催 第1回大臨技教育セミナー開催 第46回近畿医学検査学会（福井市） 第47回近畿医学検査学会実行委員会発足 第47回近畿医学検査学会ホームページ開設 学会同時開催に向けての5学会合同会議開始 JICA仏語圏アフリカ臨床検査技術コース実施 日臨技「臨床検査データ共有化ガイドライン」提示
平成 19年	大臨技臨床検査データ標準化事業推進委員会発足 第56回日本医学検査学会（宮崎市） 第47回近畿医学検査学会（グランキューブ大阪）（11月24・25日）

年表 社団法人大阪府臨床検査技師会のあゆみ (II-4)

(社団法人設立の準備と法人化30年の歩み)

<p style="text-align: center;">公益法人 としての歩み</p> <p style="text-align: center;">(平成19年～ 平成21年)</p>	平成 19年	<p>(第50回日本臨床検査医学会近畿支部総会・第27回日本衛生検査所協会近畿支部 学術研究発表会との同時開催)</p> <p>(第54回日本臨床検査医学会学術集会・第47回日本臨床化学会年次学術集会 (11月23・24・25日)との同時開催)</p> <p>第1回大阪府臨床検査技師会ICLSコース講習会開催 「医師及び医療関係職と事務職員等との間等での役割分担の推進について」 (厚生労働省医政局長発)通知発出</p>
	平成 20年	<p>社団法人日本臨床衛生検査技師会創立55周年・法人化45周年・法改正 記念式典・祝賀会 (東京都 2月8日)</p> <p>厚生大臣表彰 (大阪3名)</p> <p>大臨技定期総会で公益社団法人取得に向けて定款変更することを決議</p> <p>森嶋祥之会長勇退、今井宣子新会長就任</p> <p>大臨技臨床検査データ標準化講演会開催</p> <p>第57回日本医学検査学会 (札幌市)</p> <p>第1回大臨技臨床検査データ標準化事業参加施設募集開始</p> <p>第1回公益法人移行委員会開催</p> <p>第48回近畿医学検査学会 (神戸市)</p> <p>日臨技エイズ予防啓発活動 (世界エイズデー) 参加</p> <p>「公益法人制度改革関連3法」施行 (12月1日)</p>
	平成 21年	<p>臨床検査技師教育機関への「大臨技会長賞」授与開始</p> <p>大臨技事務所移転 (ニチマンビルより大阪府医師共同組合東館へ) (4月1日)</p> <p>記念誌「年輪V」発行</p>

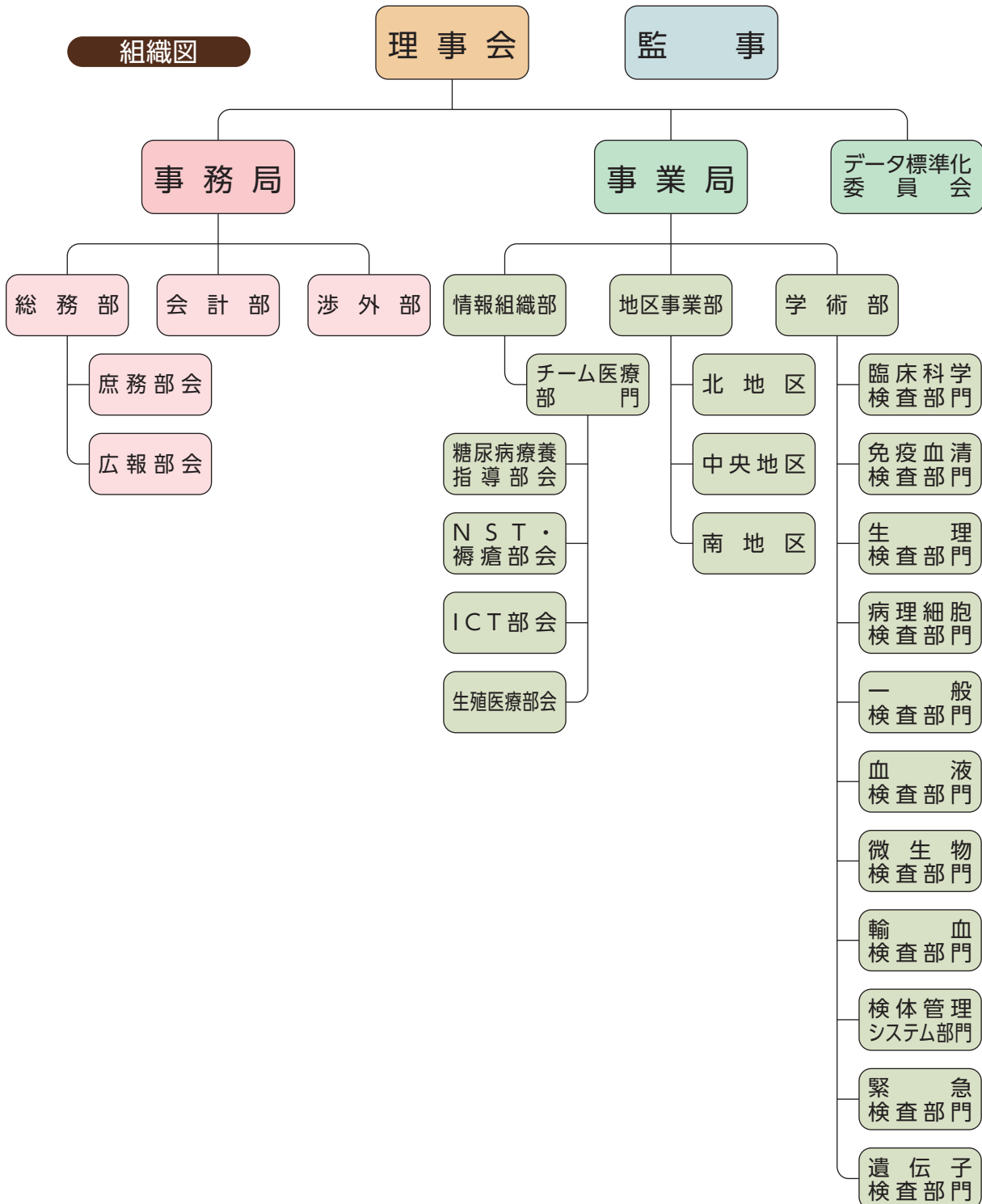
The 65th anniversary of establishment
The 30th anniversary of corporate establishment

年輪

大臨技の組織、支部・地区割

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会の組織

- ▶ 名 称 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
- ▶ 事 務 所 大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館4階
- ▶ 会の目的 臨床検査技師及び衛生検査技師の学術技能研鑽を行い併せて、地域医療及び公衆衛生の向上を図り、もって府民の健康の保持、増進に寄与することを目的とする。
- ▶ 会 員 数 3,505名(平成28年4月1日現在)
- ▶ 役 員 数 理事18名 監事2



公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 地区区分

地 区		市 区 郡					
北地区	第 1 地区	高 槻 市	茨 木 市	三 島 郡			
	第 2 地区	吹 田 市	摂 津 市				
	第 3 地区	豊 中 市	箕 面 市	池 田 市	豊 能 郡		
中央地区	第 4 地区	枚 方 市	寝 屋 川 市	門 真 市	守 口 市		
	第 5 地区	城 東 区	鶴 見 区	四 条 畷 市	大 東 市	交 野 市	
	第 6 地区	東 淀 川 区	淀 川 区	旭 区	都 島 区		
	第 7 地区	北 区	福 島 区				
	第 8 地区	東 成 区	生 野 区				
	第 9 地区	中 央 区	天 王 寺 区				
	第 10 地区	西 区	此 花 区	大 正 区	港 区	浪 速 区	西 淀 川 区
	第 11 地区	住 之 江 区	平 野 区	西 成 区	東 住 吉 区	住 吉 区	阿 倍 野 区
	第 12 地区	東 大 阪 市	八 尾 市	柏 原 市			
南地区	第 13 地区	松 原 市	藤 井 寺 市	富 田 林 市	羽 曳 野 市	南 河 内 郡	
	第 14 地区	堺 市	大 阪 狭 山 市	河 内 長 野 市			
	第 15 地区	高 石 市	和 泉 市	泉 北 郡	泉 大 津 市	岸 和 田 市	
	第 16 地区	貝 塚 市	泉 佐 野 市	泉 南 市	泉 南 郡	阪 南 市	

The 65th anniversary of establishment
The 30th anniversary of corporate establishment

年輪

第1部 特集

公益社団法人への移行

副会長 吉本 勝美

大阪府臨床検査技師会は、平成25年9月2日に公益社団法人へと移行し「社団法人 大阪府臨床検査技師会」から「公益社団法人 大阪府臨床検査技師会」となりました。

平成18年5月26日に「公益法人制度改革3法が国会で成立以降、公益社団法人認定取得に向け「公益社団法人化準備委員会」を立ち上げ、申請書類（申請書、定款変更案、事業計画書、収支予算書、貸借対照表、財産目録等）の作成を行うと共に大阪府関係機関とのやりとりを繰り返してきましたが、当初の予定とは異なり取得まで長い道のりとなりました。

その後、努力の結果が実り、平成25年8月26日に大阪府知事より公益社団法人の認定許可が下り、法人登記を終え、晴れて同年9月2日より公益社団法人として活動することとなりました。

このことを記念し、平成25年12月8日に「公益法人設立記念祝賀会を開催、多くの世話人やOB役員および現役員そして賛助会員の参加を得て盛会裏に終えることができました。

また、平成29年1月26日には公益社団法人認定後第1回目の「立入検査」があります。これは公益認定法に基づき公益社団法人として厳守すべき事項に関して実態を確認する観点から、公益認定後概ね1年から3年以内を目途に行われます。現在、この立入検査に対応すべく鋭意準備をしています。

【公益社団法人とは】

平成20年12月1日に施行された「公益法人制度改革3法のうち「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づいて設立された法人で、設立には一般社団法人とは異なり厳しい条件を整え複雑な手続きが必要となるが、公益性が認定されることにより税制の優遇措置や社会的に高い信頼度を得ることができる。

公益社団法人として行うことができる公益事業（公益目的事業）は、法律に「学術、技芸、慈善その他の公益に関する事業であって、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものをいう。」と定められた23事業に限定され、それ以外の事業は共益事業（特定の者の利益の増進に寄与する事業）となる。また、法人が行う「公益目的事業」の比率は費用額において50%以上であることとされている。

【公益社団法人移行への経緯（主に総会議事録より）】

- 1.平成18年 5月26日 「国会にて公益法人制度改革3法が成立」
- 2.平成20年 3月15日 平成19年度第2回定期総会にて公益社団法人への移行について承認される。
- 3.平成20年12月 1日 「公益法人制度改革3法が施行される
- 4.平成21年 3月21日 平成20年度第2回定期総会にて公益社団法人移行に向けての定款変更が承認される。
- 5.平成23年 3月24日 平成22年度第2回定期総会にて平成22年度中に予定していた公益社団法人認定取得の遅れを報告。
- 6.平成23年10月13日 平成23年度臨時総会にて公益社団法人移行に向けた新定款が提示され承認される。
- 7.平成24年 3月22日 平成23年度第2回定期総会にて大阪府より新定款の一部修正などの指導があり公益社団法人化が遅れていることを報告。
- 8.平成25年 3月28日 平成24年度第2回定期総会にて平成25年1月に申請手続きを終了し、答申が出次第、登記等の準備を進める旨を報告。
- 9.平成25年 8月26日 大阪府知事より公益社団法人として認定される。
- 10.平成25年 9月 2日 公益社団法人へ移行。

【公益社団法人認定書】

地保第2202号

大阪市天王寺区空清町8番33号
社団法人大阪府臨床検査技師会

平成24年12月11日にあった移行認定申請について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号）第44条の規定に基づき、別紙のと通りの公益社団法人として認定する。

平成25年8月26日

大阪府知事 松井 一郎



【大阪府より指定された「公益目的事業」:認定書より】

6 公益目的事業

- (1) 府民に対して、健康に関係する体験学習、公開講座等を開催し、府民が健康に関する知識を習得することにより公衆衛生の向上に寄与する事業
- (2) 臨床検査の学術研究及び研修会等を開催することにより医療技術者の資質向上に寄与する事業
- (3) 臨床検査の精度管理・データ標準化を目的とする指導事業

【公益法人設立記念祝賀会の様子】



献血推進活動

北川 篤

平成5年、近畿臨床衛生検査学会での献血活動以降、20余年にわたり献血推進活動を継続してまいりました。年2回、献血数が減少して血液製剤の適正在庫の確保が困難となる夏季および冬季に、難波グリーンガーデンをメインの活動場所として献血車を配車し、大臨技会員・賛助会員の皆様・臨床検査技師養成学校学生による献血ティッシュ配布などの活動により、これまで多くの市民の皆様に献血協力をいただきました。

平成22年（2010年）9月には、まいどなんば献血ルームが開設され、難波グリーンガーデンでの献血活動において相乗効果が得られるようになりました。今後は、難波エリアだけでなく他のエリアでの活動も積極的におこない、より多くの市民の皆様に献血の大切さを知っていただき、ご協力をいただけるように活動してまいります。

平成25年度	第40回 献血推進活動
	日 時: 平成25年8月17日（土） 10:00～16:30 会 場: 難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルーム 参加人数: 献血受付 159名 献血者 134
	第41回 献血推進活動
	日 時: 平成26年2月15日（土） 10:00～16:30 会 場: 難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルーム 参加人数: 献血受付 164名 献血者 140
平成26年度	第42回 献血推進活動
	日 時: 平成26年8月23日（土） 10:00～16:30 会 場: 難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルーム 参加人数: 献血受付 205名 献血者 158
	第43回 献血推進活動
	日 時: 平成27年2月28日（土） 10:00～16:30 会 場: 難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルーム 参加人数: 献血受付 210 献血者 170
平成27年度	第44回 献血推進活動
	日 時: 平成27年8月8日（土） 10:00～16:30 会 場: 難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルーム 参加人数: 献血受付 153名 献血者 122
	第45回 献血推進活動
	日 時: 平成28年2月13日（土） 10:00～16:30 会 場: 難波グリーンガーデン、まいどなんば献血ルーム 参加人数: 献血受付 176名 献血者 151
平成28年度	第46回 献血推進活動
	日 時: 平成28年8月20日（土） 会 場: 京橋駅前広場 参加人数: 献血受付 83名 献血者 65

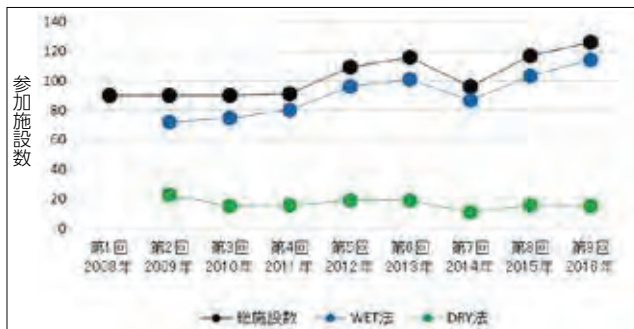
臨床検査データ標準化事業

事務局 山西 八郎

データ標準化を推進していくうえでの具体的方法となる標準化サーベイも、平成28年度で第9回を迎えました。“どこの病院、医院、クリニックで検査を受けても同じ測定結果が得られる”「年輪V 大臨技臨床検査データ標準化事業の歩み」の冒頭で記した本事業の目的は現在も変わっていません。しかし、サーベイ実行部隊である通称“標準化Pチーム”のメンバーは、サーベイを重ねるごとに、この目的を達成することの真の困難さを痛感しています。

下図にサーベイ参加施設数の推移を示します。参加施設数は増加傾向にあります。これは平成21年度から開始された日臨技臨床検査精度保証認証制度の申請に地臨技サーベイの参加証明と評価結果が必要となることに起因するものと考えています。表1に平成28年12月現在の大阪府下精度保証認証施設を示します。

一方、第1回のサーベイ調査項目は7項目（AST、ALT、 γ GT、Glu、TG、HDL-C、LDL-C）でしたが、第5回（平成24年）より生化学27項目、CBC6項目へと拡張され現在に至っています（表2）。今後はCRP以外の免疫項目も視野に入れる必要があると考えています。ただ、これらの項目の中でHbA1cの異常域試料について悩みがあります。市販の管理試料を利用すればいいのですが、コストがかかるため結果的にサーベイ参加費を大きく値上げしなければなりません。そこで、HbA1c高値のボランティアを募って試料を調製しています。しかし、同じボランティアの方に来年も血液の提供をお願いすること、言い換えると、このまま来年まで異常高値を維持してくださいとお願いすることはできませんので、毎年ボランティアを探し出してくることに苦労しています。生化学項目については、全体として



着実に標準化が推進されていると実感しています。CBC項目では特に血小板で大きなバラツキが認められましたが、これも年々有意に収束しています。また、試料調製から報告書作成までの方法・手順もほぼ確立できています。しかし、Pチームのメンバーが発足時より大きくは変更していないことから、あと2,3年をかけて次の世代にバトンタッチしていく必要があると考えています。

第10回サーベイ（平成29年度）も、6月をめどに実施する予定です。より多くの施設にご参加いただけますようお願い申し上げます。また、今後も本事業に対して、会員の皆様からご意見、ご指導いただけますようお願い申し上げます。

表1. 大阪府下精度保証認証施設（平成28年12月現在）

NTT西日本大阪病院	地域医療機能推進機構大阪病院	大阪鉄道病院	府中病院	八尾徳洲会総合病院
大阪府立急性期・総合医療センター	景岳会南大阪病院	大阪血清微生物研究所	大阪労災病院	
阪南市民病院	大阪府済生会富田林病院	東住吉森本病院	サンキメディカル検査センター	住友病院
国立循環器病センター	大阪掖済会病院	近畿大学医部附属病院	大阪大学医学部附属病院	
浅香山病院	大阪府立成人病センター	市立岸和田市民病院	松下記念病院	
大阪市立大学医学部附属病院	大阪治験病院	大阪医療センター	多根総合病院	SRL関西ラボトリー
岸和田徳洲会病院	大阪府済生会吹田病院	阪大微生物研究会	育和記念病院	大阪府済生会野江病院
(株)オー・ビー・エル				

表2. サーベイ 評価項目

臨床化学	(含窒素)	TP、Alb、T-Bil、UN、CRE、UA
	(電解質)	Na、K、Cl、Ca、IP、Fe
	(糖質)	Glu、HbA1c
	(脂質)	TC、HDL-C、LDL-C、TG
	(酵素)	AST、ALT、LD、ALP、 γ GT、CK、AMY、ChE
免疫		CRP
CBC		RBC、WBC、Hb、Ht、PLT、MCV

新入会員研修会

情報組織部会 山西 八郎

本研修会は、新しく大臨技に入会した会員、あるいは入会を予定している臨床検査技師を対象として、5月～8月の土曜日午後を開催しています。参加者のほとんどは、4月に入職したいわゆる“新人技師”であることから、研修会の内容は大臨技紹介を含めた、医療安全、感染予防、認定資格・学位の取得方法と意義など、卒後教育の入り口となるテーマに軸足を置いて開催しています。

また、グループディスカッションを取り入れることにより、他施設の技師との交流を深めることも重要は目的としています。

開催日	テーマ
平成21年 5月 16日	国試合格！さあ、次のステップへ
平成22年 7月 3日	ベテランさんも聞きたがる！あなたのお悩み解決法を伝授します
平成23年 7月 2日	エキスパートの検査技師になるための認定資格はこれだ！ ～資格あれこれとその取り方～
平成24年 8月 4日	認定資格取得の必要性和感染予防の重要性
平成25年 8月 3日	出来る技師になる為の秘策
平成26年 8月 2日	新人検査技師のための危険予知トレーニング (KYT)
平成27年 7月 25日	新人技師への期待と、会員相互の親睦を深める (地区事業部との合同開催)
平成28年 5月 21日	他施設の仲間と学ぶ!! つながる!!



さらに、平成28年度より研修会の名称を「新人の集い」と改称するとともに、“臨床検査カルタ大会”や部員が演じるインシデント動画を見て、インシデントの発生原因やその予防・対策を話し合うグループディスカッションなど、参加者が臨場感を持って研修できるコンテンツを導入しています。

今後も新人技師に求められる、あるいは新人技師が求める研修内容を積極的に取り入れていきます。

府民健康フォーラム

増田 詩織

府民健康フォーラムは「私たちの暮らしと薬・検査・栄養」をテーマに、大阪府薬剤師会・大阪府栄養士会・大阪府臨床検査技師会の3団体が年1回主催しているフォーラムです。大阪府民の皆様に健康に対する意識を高めて頂き、生活習慣病や悪性腫瘍をはじめ様々な疾患の知識を深め、検査・薬・栄養の話題を提供して暮らしにあった健康管理を啓発することを目的に開催しています。今年で第12回の開催となりますが、毎年多くのお大阪府民の方々にご参加いただき、今年も参加予約がいっぱいで当日も330席が満席の状態でした。

第12回

2016年(H28年)11月23日(水祝) 梅田ブリーゼプラザ小ホール

テーマ「地域で見守るアレルギー疾患」

「子供のアレルギー 最新の考え方と治療」

亀崎 佐織 (かめさきこどもアレルギークリニック院長)

「アトピー性皮膚炎と血液検査」

大浦 綾子 (大阪市立大学医学部附属病院)

「治療効果を高める薬の適切な使用方法」

南角 喜恵 (大阪府薬剤師会理事)

「食物アレルギーの子どもの食事療法で大切なこと」

西本 裕紀子 (大阪府母子保健総合医療センター)

第11回

2015年(H27年)10月25日(日) 梅田ブリーゼプラザ小ホール

テーマ「たばこ病と呼ばれる COPD (慢性閉塞性肺疾患) の怖さ～禁煙すれば防げる?」

「今、なぜ COPD なのか?」

辻 文生 (市立吹田市民病院 呼吸器・アレルギー内科部長)

「あなたの肺は大丈夫? 肺年齢と COPD ～呼吸器機能検査のススメ～」

子甫 徹 (馬場記念病院)

「吸入指導のポイント」

堀越 博一 (大阪府薬剤師会理事)

「COPD における栄養管理について」

半田 陽子 (大阪府結核予防会大阪病院)

第10回

2014年(H26年)11月9日(日) 梅田ブリーゼプラザ小ホール

テーマ「高血圧は、なぜ身体に悪いの?～高血圧のチェック・食事・日常生活における工夫～」

「高血圧について」

加納 康至 (加納内科院長・大阪府医師会理事)

「高血圧と食事」

内藺 雅史 (市立柏原病院・大阪府栄養士会理事)

「高血圧のための臨床検査」

吉本 茂 (明石市立市民病院)

「高血圧治療薬について」

西川 直樹 (愛仁会本部・大阪府薬剤師会理事)

第9回

2013年(H25年)11月17日(日) 梅田ブリーゼプラザ小ホール

テーマ「アンチエイジングのためのヘルスアップ講座」

「心と体のアンチエイジング～すこやかに美しく～」

正木 初美 (正木クリニック院長)

「更年期の臨床検査データの変化について」

増田 詩織 (近畿大学医学部附属病院)

「更年期のセルフメディケーション」

杉本 幸枝（大阪府薬剤師会理事）

「アンチエイジングの食事と栄養」

西村 智子（若草第一病院）

第8回

2012年（H24年）10月28日（日） 大阪YMCA国際文化センター

テーマ「肝臓を大切にしていますか～脂肪肝と言われたら～」

「脂肪肝の病態と治療について」

羽生 大記（大阪市立大学大学院生活科学研究科教授）

「あなたの肝臓は大丈夫ですか。－肝臓をチェックする臨床検査－」

増田詩 織（大阪府臨床検査技師会理事）

「脂肪肝、特にNAFLDについての栄養・食事管理について」

藤井 千絵（大阪府栄養士会理事）

「脂肪肝のくすりについて」

西川 直樹（大阪府薬剤師会理事）

第7回

2011年（H23年）10月2日（日） 大阪YMCA国際文化センター

テーマ「あなたの腎臓大丈夫ですか？」

「最近話題の慢性腎臓病（CKD） あなたの腎臓大丈夫ですか？」

菅原 照（大阪赤十字病院腎臓内科部長）

「慢性腎臓病に対する低タンパク食事療法の進め方」

福永 恵子（住友病院）

「慢性腎臓病（CKD）と推算糸球体ろ過率（eGFR）」

山西 八郎（天理医療大学）

「腎臓を守るお薬とは？」

山本 克己（大阪府薬剤師会副会長）

大臨技・大放技合同フォーラム

増田 詩織

大臨技・大放技合同フォーラムは、大阪府診療放射線技師会・大阪府臨床検査技師会の2団体が、悪性腫瘍・心疾患・脳血管障害など様々な疾患についての臨床検査・放射線検査の話題を講演し、大阪府民の皆様へ情報発信することを目的に開催しております。

診療放射線技師と臨床検査技師は画像検査など業務の専門領域が関係することも多く、本フォーラムは両会の親睦を深める良い機会となっています。本フォーラムは2000年より毎年開催し今年度で18回の開催となります。

- | | |
|------------------------|--|
| <p>第18回
平成28年度</p> | <p>2017年(H29年)1月21日(土) 住友病院14階講堂</p> <p>テーマ「乳がん 早期発見と早期治療 見つけるひと・治すひと」</p> <p>「乳がんの臨床検査のお仕事」
横田裕香 (大阪市立総合医療センター)</p> <p>「乳がん！診療放射線技師の果たす役割」
株崎律子 (りんくう総合医療センター)</p> <p>「乳がんの診断と治療」
玉木 a 康博 (大阪府成人病センター 副院長)</p> |
| <p>第17回
平成27年度</p> | <p>2016年(H28年)1月23日(土) 大阪府医師協同組合会館8階ホール</p> <p>テーマ「血管の病気 検査から診療へ」</p> <p>「末梢血管の放射線画像検査：画像の成り立ちと病態の捉え方」
佐原朋広 (大阪市立大学医学部附属病院)</p> <p>「VTE における下肢静脈エコーの実際」
吉川淳一 (大阪市立大学医学部附属病院)</p> <p>「チーム医療による血管診療」
駒井宏好 (関西医科大学外科学講座 末梢血管外科教授)</p> |
| <p>第16回
平成26年度</p> | <p>2015年(H27年)1月31日(土) 大阪府医師協同組合会館8階ホール</p> <p>テーマ「肝がんの診断と治療のトピックス」</p> <p>「肝がんの血液検査」
上田一仁 (市立芦屋病院)</p> <p>「肝がんの超音波像－肝細胞がんを中心に－」
森雅美 (PL 病院)</p> <p>「肝臓領域の MRI」
高津安男 (大阪赤十字病院)</p> <p>「肝がんでの CT・IVR の役割とは？」
市田隆雄 (大阪市立大学医学部附属病院)</p> <p>「肝がんの診断と治療のトピックス」
広原敦子 (関西医科大学香里病院 副院長)</p> |
| <p>第15回
平成25年度</p> | <p>2014年(H26年)1月18日(土) 大阪府医師協同組合会館8階ホール 参加人数102名</p> <p>テーマ「年齢をとったら気になる脳血管の病気と検査」</p> <p>「「物忘れ」の原因をみる検査－機能画像で認知症の早期発見」
澁谷孝行 (市立岸和田市民病院)</p> <p>「血管も年をとります、お肌と同じように血管もケアを」
六尾哲 (市立岸和田市民病院)</p> <p>「脳血管性認知症－鑑別から予防に向けて－」
西谷信之 (ベルランド総合病院神経内科部長)</p> |

第14回
平成24年度

2013年(H25年)1月19日(土) 大阪府医師協同組合会館8階ホール 参加人数151名

テーマ「胸痛！！まさか わたしの心臓が・・・？」

「心筋血流画像評価で知っておきたいことー核医学検査の有用性を中心に」

藤崎宏 (国立循環器病研究センター病院)

「その痛みの原因を心電図・心エコーで探る」

山内一浩 (市立豊中病院)

「これで不安解消、胸の痛みの原因と治療法」

岩坂壽二 (関西医科大学附属滝井病院 病院長)

第13回
平成23年度

2012年(H24年)1月21日(土) 大阪府医師協同組合会館8階ホール 参加人数127名

テーマ「感染(うつ)さない 感染(うつ)らない 身近に忍び寄る結核」

「胸部X線画像から見える結核」

別所右一 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター)

「早期診断における結核菌検査」

伏脇猛司 (結核予防会大阪府支部大阪病院)

「結核性の診断、治療および院内感染対策について」

永井崇之 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 感染症内科部長)

第12回
平成22年度

2011年(H23年)1月15日(土) 大阪府医師協同組合会館8階ホール

テーマ「痛みはどう立ち向かうか？ー救急現場におけるチーム医療の担い手たちー」

「内視鏡・超音波検査からみた急性腹症」

出野憲由 (大阪労災病院)

「検体検査からみた急性腹症」

福田篤久 (大阪府立泉州救命救急センター)

「救急医療における放射線検査ー急性腹症を中心にー」

渡部恵次 (大阪府三島救命救急センター)

「消防法改正による今日の医療体制ー泉州医療圏の試みと実績ー」

松岡哲也 (大阪府立泉州救命救急センター 所長)

看護フェスタおおさか

五十里 大介

「看護の日」とは・・・厚生労働省が1990年に5月12日（ナイチンゲールの誕生日）を「看護の日」と制定。看護の心を広く伝えるために、看護職と市民、行政、保健医療福祉関係者などが協力してつくりあげる『看護の祭典』として、全国で催しが行われます。（公益社団法人 大阪府看護協会より）。

当会におきましても、大阪府看護協会・桃谷センターにて開催されました「看護フェスタおおさか」に参加させて頂き、毎年たくさんの府民、市民の皆様に検査を体験して頂いております。

2014年5月10日（土）に開催されました「看護フェスタおおさか2014」では、「認知症」をテーマに、各フロアでさまざまな体験コーナーが設けられました。当会は血糖値測定器と頸動脈エコーを実施させて頂きました。血糖測定では193名の方に、頸動脈エコーでは223名の方に体験して頂きました。また、渉外部世話人と理事17名が参加し、メーカー様にも機器提供にてご協力頂きました。

2015年5月9日（土）に開催されました「看護フェスタおおさか2015」では、「命を守る 暮らし支える 地域医療の輪」をテーマに、各フロアでさまざまな体験コーナーが設けられました。また、協賛企業の実演販売ブースも設置されていました。当会は無侵襲ヘモグロビン測定と頸動脈エコーを実施させて頂きました。無侵襲ヘモグロビン測定では197名の方に、頸動脈エコーでは196名の方に体験して頂きました。また、世話人と理事14名が参加し、メーカー様にも機器提供にてご協力頂きました。

2016年5月14日（土）に開催されました「看護フェスタおおさか2016」では、「看護の心をみんなの心に」をテーマに、各フロアでさまざまな体験コーナーが設けられました。当会は頸動脈エコーと無侵襲ヘモグロビン測定を実施させて頂き、それぞれ193名の方に体験して頂きました。頸動脈エコーでは3名の世話人の方に担当して頂き、モニターを見ながら体験された方の血管の状態をわかりやすく説明して頂きました。また検査後には写真を結果としてお渡しさせて頂きました。ヘモグロビン測定では、無侵襲の機器を用いて指先からヘモグロビンの推定値を測定し、結果を参考値とともにお渡しさせて頂きました。測定していく中で、ヘモグロビンとは何か？機械の原理や実際の採血との違いは何か？など多数のご質問もありましたが、このようなご質問にお答えさせて頂くことで検査についてご理解頂くきっかけになったと思います。

本活動が府民、市民の皆様に臨床検査技師の業務や活動についてご理解頂く機会になるよう、今後とも継続して活動していきたいと考えます。また、毎年ご協力頂いております看護協会の方々に感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

過去3か年の検査体験者数

平成26年度	
血糖測定	193名
頸動脈エコー	223名
平成27年度	
無侵襲ヘモグロビン測定	197名
頸動脈エコー	196名
平成28年度	
無侵襲ヘモグロビン測定	193名
頸動脈エコー	193名

がん(検診)フォーラム

岡本 秀雄

「がんは昭和56年から、我が国における死亡原因第一位となっており、平成27年の悪性新生物死亡者数は約37万人と死亡総数の約30%を占めています。また、現在では、一生涯に罹患する人の割合は50%を超えており、国民の保健の上で最も大きな問題の一つとなっています。

このような中で、当会においても府民の皆さんに対し、がん検診の重要性とがんに関する知識を習得して頂くことを目的としたフォーラムを平成22年度より開催しています。第1回から第4回までは日本臨床衛生検査技師会の公益委託事業として開催し、第5回からは当会単独事業として継続開催しています。

第1回・第2回・第6回は乳がん、第3回は子宮がん、第4回は乳がんと子宮がん、第5回は肺がんをテーマに、臨床検査技師は関連する検査について、専門医師には診断および治療についてわかりやすく講演して頂きました。

第6回は、「がん予防フォーラム 2016」と題し、毎日放送ラジオ局前プロデューサー 伊東正治さん司会進行のもと、午前の部は臨床検査技師向けに教育講演として「腫瘍マーカー」と「細胞診」の講演、午後の部は府民公開講座として「乳腺超音波検査」の講演、病理医による「乳がんの診断および治療について」の講演をして頂きました。さらに特別講演として、読売テレビアナウンサー 清水健さんをお招きし講演して頂きました。自分自身があるいは大切な人が「がん」になったり、そして最悪の事態を迎えることは誰しもあり得ることで、参加者の皆さん一人ひとりが考えさせられたのではないかと思います。

厚生労働省はがん検診受診率50%を目標に掲げていますが、全国平均もまだ及ばず、特に大阪府のがん検診受診率は、胃がん・大腸がん・肺がん検診受診率は全国最低、乳がんおよび子宮がん検診受診率はともに全国46位という全国最低レベルにあります。

今後とも当会では、府民の皆さんに「がん」に関する知識をわかりやすくお伝えし、がん検診受診に繋がるような活動を展開していきたいと考えていますので、御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

回数	タイトル	日程	テーマ	参加人数
第1回	乳がん検診フォーラム	平成22年 10月16日	乳がん	102名
第2回	乳がん検診フォーラム	平成23年 11月19日	乳がん	141名
第3回	がん検診フォーラム	平成24年 10月13日	子宮がん	30名
第4回	がん検診フォーラム	平成26年 3月15日	子宮がん乳がん	63名
第5回	がん検診フォーラム	平成26年 12月6日	肺がん	51名
第6回	がん予防フォーラム2016	平成28年 3月20日	乳がん	196名
第7回(予定)	がんフォーラム2017	平成29年 3月11日	乳がん	—

資料:国民衛生の動向2014/2015、平成25年国民生活基礎調査

子宮頸がん検診啓発活動

子宮頸がんの多くは、ヒトパピローマウイルスが関連し引き起こされています。近年、20～30歳代の若年女性において、子宮頸がん罹患率および死亡率が増加傾向にあり、特に若い世代の子宮頸がん検診受診の必要性が叫ばれています。

当会では、日本臨床細胞学会大阪府支部細胞検査士会と共催し、子宮頸がん検診啓発活動(LOVE49)を行っています。LOVE49はNPO法人 子宮頸がんを考える市民の会と細胞検査士会が2009年より毎年、4月9日を「子宮頸がんを予防する日」として、女性(特に20～30歳代)に子宮頸がん定期検診の必要性を伝える街頭キャンペーンです。

第1回～第3回は大阪府赤十字血液センター御協力のもと、大臨技献血推進活動とともに高島屋大阪店前路上にて行っていました。第4回以降は、LOVE49活動に賛同されている大丸心齋橋店前路上で行っています。

今後も当会と日本臨床細胞学会大阪府支部細胞検査士会が手を組み、府民の皆さんに子宮頸がんの知識や検診の重要性をお伝えし、子宮頸がん検診受診率が少しでも向上するように取り組んでいきたいと考えています。

回数	日程	場所	参加人数
第1回	平成22年 4月10日	高島屋大阪店前路上	26名
第2回	平成23年 7月22日	高島屋大阪店前路上	20名
第3回	平成24年 4月14日	高島屋大阪店前路上	17名
第4回	平成25年 4月27日	大丸百貨店心齋橋店前路上	19名
第5回	平成26年 4月 6日	大丸百貨店心齋橋店前路上	15名

マタニティーカーニバル

地区事業部 栗本 幸司／田畑 泰弘

平成21年度からの新事業として、マタニティーカーニバル実行委員会・テレビ大阪主催の、マタニティーカーニバルの体験コーナーを企画・運営することになりなした。

少子化時代の昨今、児の虐待やネグレクトなど育児をめぐる話題の中には目を覆いたくなるようなニュースも多く、地域ぐるみで、また様々な職種や立場を超えた支援が不可欠な時代になっています。

マタニティーカーニバルは、妊娠、出産、子育て世代の方をはじめ、そのご家族を含めた皆様に出産、育児の素晴らしさ、楽しさを再度認識していただき、地域ぐるみでサポートしていきたいとの思いで集まった産婦人科医師を中心に、厚生労働省、内閣府、大阪府、大阪市、医師会、産婦人科医会等のご後援をいただき、協力企業も含めて職種の枠を超えて、少子高齢化のこの時代だからこそ必要とされるビックイベントです。

このイベントの内容は医師や各企業からの講演会、展示会、医師、助産師などによる相談コーナー、各種体験コーナーがメインとなり、大阪府臨床検査技師会は、この体験コーナーを企画・運営し、多くのボランティアスタッフで4D超音波体験、骨密度測定、脳年齢チェックなどのコンテンツを提供し、毎年多くの方に楽しんでいただいております。特に4D超音波はお腹の中の赤ちゃんとの対面という感動の場を提供できる事から母性、父性の育成に役立っているとの実感を得る事ができる事もあり、臨床検査技師だからこそ可能な貴重な子育て支援だと考えております。

年度別総入場者数と体験コーナー利用者数は下記となります。

マタニティーカーニバル年度別実績

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
総入場者数	19646名	20121名	21286名	21708名	21847名	22254名	22765名	23150名
体験コーナー利用者数	2224名	2876名	2753名	3155名	3258名	3092名	3111名	3284名
ボランティア数 (延べ人数)	90名	88名	108名	106名	148名	148名	115名	116名





日臨技事業（検体採取講習会）

事業局 高田 厚照

平成26年の国会において議員立法により臨床検査技師法の一部が改正され、新たに直接、体内より検体採取をすることが一部で可能となり加えて生理学的検査の味覚検査と嗅覚検査が追加されました。この資格を取得するには各地方医務局の所在地で開催される講習会に参加することが義務付けられました。

厚生労働省が管轄主催する（実際には日臨技が委託開催）講習会ですので、当然近畿医務局は大阪府にあるので開催は大阪府ということになりますが、当初は運天前大臨技会長より、年明けより検体採取の講習会を開催するので会場を確保してほしい、と依頼されたので気軽に引き受けたところいつの間にか近畿地区の責任者になっていました（笑）。そこからが大変。会場を決めたのが11月頃。すぐに講習会の講師を決めてほしい、という要望があり関西医大の先生に日臨技より送られてきたテキスト原稿を持参して交渉（これが2時間30分の講習時間なのにスライドで20枚程度）。これが12月中旬。まるで詐欺を働いたように言葉巧みにOKをいただきました（谷村裕嗣先生:関西医大総合医療センター皮膚科、西尾彰功先生:関西医大総合医療センター消化器内科）。耳鼻科領域に関しては日臨技より耳鼻咽喉科学会近畿支部で担当していただけることになりました（都築建三先生、任智美先生:兵庫医大耳鼻咽喉科頭頸部外科）。そして新年を迎え、平成27年1月24日に関西医大枚方キャンパスの加多乃講堂で印象深い第1回目の講習会をスターすすることになりました。というのも苦労して講師の先生方をお願いして快諾いただいたのに（実際には騙したようで心苦しいのですが）、なぜなら、あまりにも日臨技からのテキストの内容が少なく講習時間が持たない、ということで所定の講習時間になるように内容の追加をお願いしてどうにか体裁を整えていただきましたが・・・。オリエンテーションが始まり、続いて日臨技宮島会長挨拶、医の倫理等のDVD上映が定刻に修了、これからが前途多難。午後からの講演が始まる時に、私は所用で会場を離れ東京に行くことになっていましたので後を山西先生（天理医療大学）に託し、実務委員の方に講演が無事終わったら連絡をもらうように伝言しておきました。すると新幹線が富士山を過ぎようとした時に1日目講習会修了の連絡を受けることになりました（予定では東京についている時間でしたが）。予定よりだいぶ早い時間での連絡、詳しい状況を聞くと山西先生が苦労に苦労を重ねて時間を延ばしていただきましたが力尽きて終了にしました、ということでした。（実際には他の地区でも同様な状態であったようです）。このようなスタートでしたが、講師の先生方も回を重ねるごとに講演の内容を増やしていただき、3回目ごろよりやっと良い格好になってきました（ちなみに皮膚科の検体採取のところで追加の資料があるのは近畿地区だけです）。

このようにして始まった講習会ですが平成28年12月末までに関西医大枚方キャンパスで11回、大阪府立ドーンセンターで1回、関西大学で2回と計14回、近畿地区で開催されました。1～10回までは大阪で担当いたしました、大阪の負担が大きいということで11回より日臨技近畿支部が担当を持ち回りで行うことになりました。11回は京都、12回は滋賀、13回は和歌山、14回は兵庫が担当し、平成29年1月の15回は奈良が担当いたします。当初は近畿地区の方が参加されるものと思っていましたが、ふたを開けると東は東京、南は九州・沖縄からの参加者がありました。特に交通の便の良さなのか中国地方から多くの参加者がありました。たぶん、これらの方のなかには古都京都・奈良や現代のUSJなどを観光する目的もあったのではないのでしょうか。この講習会は前述したように法律で決められたものであるにもかかわらず一般の講習会のように認識している参加者がいました。そのような方は遅刻、中抜けをされたために再受講となりました。最近のスマホやタブレット端末の普及により印刷しなければならない受講票を持ってこないといった常識を欠如しているのかな、と思われる参加者も毎回みられました。綿棒・舌圧子を使用した実習では鼻出血をされないか心配でしたが、幸いにもそのような事故もなく実習後は楽しそうに会話をしている光景がそこかしこに見られました。このようにして合計4600名の方が講習を終了されて修了証を手に入れました。残念ながら、本年度末でも近畿地区の会員のかたの講習会参加者が50%をはるかに割る状況です。大臨技会員でも30%前半の状況です。2年後には新カリキュラムを履修された方が卒業されてきます。経過処置で検体採取の修了認定を受けられる講習会の開催も縮小されるでしょう。

この年輪が発刊される頃には必要とされる会員の全てが受講されている状況ではありませんが、次回の年輪が発行される時には無事全員が受講されました、と報告されるように祈願して筆を置きたいと思えます。

検体採取等に関する 厚生労働省指定講習会のご案内

平成26年「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」(平成26年法律第83号。)等の改正により、平成27年4月1日から臨床検査技師においても検体採取が実施できることとされ、平成27年4月1日において、現に臨床検査技師の免許を受けている者等が検体採取を行おうとするときには、あらかじめ厚生労働大臣が指定する研修(以下「指定研修」という。)を受けなければならないとされており、指定研修会については、日臨技において、厚生労働省地方厚生局所在地(四国支所、沖縄分室を含む)の9箇所を目標に開催することとし、平成27年1月に東京都での開催を皮切りに令和元年12月までの開催で延べ229回、59,965人が受講されました。

なお、本講習会については、新型コロナウイルス感染症の発生から中止とされていますが、病院、診療所に勤務している約3割弱が受講していない状況であります。

今般の新型コロナウイルス感染症が発生している状況に鑑み、今後、他の流行性感染症を含む、さらなる感染拡大に対応する検査体制の強化のため、普段従事する業務において検体採取を行う予定がない臨床検査技師においても、特段の理由がある場合を除き、全ての臨床検査技師において、予め指定研修を受講するよう、令和2年6月2日 厚生労働省医政局医事課長から各都道府県医務主管部局長あて通知され、このことから、本講習会の重要性に鑑み、再開することとなりました。



日臨技・大臨技主催事業（検査説明・相談ができる臨床検査技師養成講習会）

地区事業部 田畑 泰弘

平成19年12月28日付厚生労働省医政局長通知において、医師等ではなくても対応可能な業務例が整理された。この中では採血、検査についての説明については医師及び看護職員のみで行っている実態があり、臨床検査技師との適切な業務分担を導入することで、医師等の負担を軽減することができるとされている。

現在、採血については検査技師が行っている施設は多いが、検査説明についてはほとんど着手されておらず、平成25年度において各都道府県技師会から各1名の企画担当者が選任され、日臨技にて「検査説明・相談ができる臨床検査技師育成企画担当者講習会」が開催された。それを受けて、平成26年度から28年度の3年間、各都道府県での検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会の開催が行われることとなり、大臨技でも、各方面より講師の先生をお招きして講習会を開催しました。

講義内容は、検査説明に取り組む意義、期待するもの（病院管理者の立場から）、看護師の患者接遇、患者心理、接遇の基本<ロールプレイ>、検査説明の実際、R-CPC、検査説明の模擬演習等で、28年度は、実際にこの講義を受けられて検査説明を始められた施設の方に、「検査説明始めました」と題し、講演していただきました。

今後、医師や看護師、他のコメディカルなどとの協力体制を築き、臨床検査技師がチーム医療の中で、活躍できるための礎となる講習会であったと思われる。

受講者：平成26年48名、平成27年64名、平成28年63名、合計175

後 援：厚生労働省

公益社団法人 日本医師会

公益社団法人 日本看護協会

一般社団法人 日本病院会

公益社団法人 全日本病院協会

公益社団法人 全国自治体病院協議会

一般社団法人 日本臨床検査医学会

チーム医療推進協議会

大阪府

一般社団法人 大阪府医師会

公益社団法人 大阪府看護協会

一般社団法人 大阪府病院協会





全国「検査と健康展」

梶 勝史

全国「検査と健康展」は、日臨技企画として国民の皆様には生活習慣病やガンの早期発見、定期的な健康診断の重要性を啓発するとともに、臨床検査についての理解を深めていただくことを目的に全国47都道府県で開催されています。

当会では2014年の12月6日（土）に大阪府医師協同組合本部7階に置いて臨床検査パネル展示、リーフレットと小冊子の配布を行い、臨床検査体験コーナーではスパイロメーターによる「肺年齢、終末糖化産物（AGE）測定による「肌年齢」、指先の毛細血管を観察する「血管美人」を体験して頂きました。また、『知って得する「肺がん」のこと』と題して講演会を行いました。検査相談室を設け検査結果や健診等について相談を受けました。

（参加人数:体験コーナーのべ85名、検査相談2名、講演会51名）

2015年は10月18日（日）に大阪国際交流センターにて開催いたしました。臨床検査展示紹介コーナーでは、日臨技で用意されたリーフレット、小冊子及び附箋と大臨技で用意した名入りメタボメジャー、献血推進チラシ、献血推進ティッシュ、内視鏡紹介リーフレットの配布をおこないました。会場には臨床検査紹介ポスター（日臨技用意）、献血推進ポスター（大臨技用意）プロジェクターによる臨床検査技師紹介ビデオ放映、内視鏡、顕微鏡と血液像のモニター展示を行い、体験コーナーでは頸動脈エコー測定、非観血的ヘモグロビン測定、唾液AMY測定を行いました。体験コーナーは、どのブースも仕切りを作ることでプライバシーに配慮し、検査相談を受けることができる様にしました。血液循環について血管像（頸部動脈エコー）、その中を流れる血液像、赤血球の中のヘモグロビン、血液が失われた際の献血の必要性をトータルで理解できるように体験コーナーと展示紹介コーナーを工夫しました。

（参加人数:体験コーナーのべ477名、検査相談4名）

2016年は11月3日（木・祝）に長居公園自由広場&こども広場にて、臨床検査展示紹介コーナーと検査相談を受けることができる臨床検査体験コーナーを設けました。会場には臨床検査紹介ポスターを掲示し、リーフレット、小冊子、メタボメジャーの配布を行いました。体験コーナーでは非侵襲的ヘモグロビン測定、AGE（肌年齢）測定、毛細血管観察「血管美人」などを体験して頂きました。非常に多くの府民が参加されましたが、整理券方式で運用することで大きな混乱もなく運営することができました。

また、“大阪府臨床検査技師会プレゼンツ検査と健康”ミニステージとして放送局のイベントにも参加し、歌手“KOSUKE”による臨床検査技師応援ソングの初披露と竹浦久司会長、増田詩織理事により臨床検査と臨床検査技師について、及び全国「検査と健康展」の他県での開催案内等をインタビュー形式で行ないました。活動中に市民の皆さんから、“臨床検査技師を初めて知った”“来年も参加したい”との声も聞くことができ、臨床検査や臨床検査技師業務への理解を得られたと思われました。

（参加人数:体験コーナーのべ375名、検査相談23名、ミニステージ聴衆者62名、資料配布1400）

HIV予防啓発講演会

梶 勝史

今、日本ではH I V感染者・エイズ患者が増加しています。大阪府の現状は、全国で2番目に多くなっています。

当会では平成23年度から毎年、HIV感染者・エイズ患者が増加している今、青少年に向けて予防啓発活動として講演会を行っています。講演会では最初に「H I V感染症の現状や予防」と題して大阪府でH I V対策の企画立案されている保健師の方からH I Vの基礎知識、予防対策に関する講演していただき、続いて、「H I V感染症の検査と治療」を衛生研究所で25年以上HIVを研究されている主任研究員の方に最近の検査方法や治療薬の変革についての講演をしていただいています。

参加者の方からは、H I Vとエイズの違い、また発病すると免疫不全になりすぐに死に至るとイメージがあったのに、現在では延命もできるということなど、H I V感染症について正しく理解できたという声が聞かれました。

また、これまで持っていたH I Vのイメージが変わったという意見も多くあり、このような講演会を開催することによってエイズに対する誤解や偏見を無くせるように思いました。

平成25年度からは、12月1日の世界エイズデーに併せて、11か12月に開催しています。これからもH I Vの正しい知識を普及することでH I V感染を予防し、増え続けているH I V感染者・エイズ患者の増加に歯止めを掛けるためにH I V予防啓発事業に取り組んでいきます。

平成23年度	日 時: 平成24年2月4日 (土) 16:30~18:00 会 場: 大阪医療技術学園専門学校 参加人数: 53名
平成24年度	日 時: 平成25年1月26日 (土) 16:30~18:00 会 場: 近畿医療技術専門学校 参加人数: 42名
平成25年度	日 時: 平成25年11月30日 (土) 16:30~18:00 会 場: 日本医療学院専門学校 参加人数: 55名
平成26年度	日 時: 平成26年11月25日 (土) 16:15~18:15 会 場: 大阪医療技術学園専門学校 参加人数: 40名
平成27年度	日 時: 平成27年12月12日 (土) 14:00~16:00 会 場: 近畿医療技術専門学校 参加人数: 42名
平成28年度	日 時: 平成28年12月10日 (土) 15:00~17:00 会 場: 日本医療学院専門学校 参加人数: 57名

会計

平成20年度～平成27年度

1. 月次収支計算書の作成
平成20年度～平成27年度各月次収支決算書の作成
2. 確定決算報告書の作成
第24期（平成20年度）～第29期（平成25年度:9月1日）確定決算報告書の作成
3. 予算案の作成
平成21年度～平成28年度予算案の作成
4. 年度毎収支

収入の部

(単位:円)

	平成20年度 (第24期)	平成21年度 (第25期)	平成22年度 (第26期)	平成23年度(第 27期)	平成24年度 (第28期)	平成25年度 (第29期)4/1～9/1
会費収入	19,815,500	19,798,000	19,686,000	19,099,000	19,528,000	7,992,000
会員会費	14,970,000	15,160,000	15,290,000	15,260,000	15,560,000	6,350,000
入会費	936,500	1,019,500	856,000	474,000	458,000	192,000
賛助会員費	3,800,000	3,500,000	3,450,000	3,300,000	3,450,000	1,450,000
重複会員費	109,000	118,500	90,000	65,000	60,000	
事業収入	10,008,426	10,161,800	10,770,605	12,992,700	12,154,600	6,992,000
会誌広告費	390,000	510,000	635,000	480,000	410,000	430,000
健康展	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000
生涯教育講座	1,729,650	1,734,600	1,757,150	1,908,400	450,000	300,000
学術講演会	6,343,102	7,145,200	7,431,400	9,750,800	10,231,500	6,002,500
各種研修会	1,405,674	632,000	807,055	713,500	923,100	119,500
補助金収入	1,581,700	2,599,702	2,410,489	2,086,300	814,000	
日臨技助成金	1,135,350	1,337,400	1,355,850	1,356,300		
その他	446,350	1,262,302	1,054,639	730,000	814,000	
雑収入	306,711	1,307,851	753,730	360,534	175,532	422,084
預金利息収入	66,431	47,305	19,130	18,334	1,588	3,083
その他	240,280	1,260,546	734,600	342,200	173,944	419,001
預り金収入	66,320	67,880	70,750	60,990	35,850	42,823
前期繰越収支差額	11,118,567	11,576,428	9,497,682	7,995,158	6,964,108	6,638,244
収入合計	42,897,224	45,511,661	43,189,256	42,594,682	39,672,090	22,087,151

支出の部

(単位:円)

	平成20年度 (第24期)	平成21年度 (第25期)	平成22年度 (第26期)	平成23年度 (第27期)	平成24年度 (第28期)	平成25年度 (第29期)
人件費	6,477,330	6,707,312	7,115,910	6,885,415	7,108,072	3,078,197
会議費	870,400	638,272	785,409	783,325	645,298	387,313
事務経費	3,851,043	3,308,244	4,323,925	3,968,902	3,067,155	1,665,963
事務所費	2,783,537	3,173,384	2,954,925	2,966,616	2,960,091	1,236,399
学術研究費	7,651,052	9,533,513	9,897,706	11,319,406	11,376,997	6,249,528
広報費	3,871,380	3,110,858	3,426,807	3,002,647	2,235,724	902,090
渉外費	710,040	1,281,208	1,131,071	998,060	1,081,742	256,805
情報組織費	866,570	996,167	1,084,455	1,175,006	1,205,814	334,224
地区事業費	649,222	1,023,124	939,844	1,148,082	1,131,968	628,530
各種研修費	582,040	5,000	2,000	384,222	424,164	168,184
各種委員会費	675,089	577,374	836,564	954,285	1,196,121	68,047
諸経費	2,272,232	5,591,673	2,627,202	1,981,618	1,638,813	1,063,489
預り金支出	60,861	67,850	68,280	62,990	61,887	10,476
当期支出合計	31,320,796	36,013,979	35,194,098	35,630,574	34,133,846	16,049,245
次期繰越収支差額	11,576,428	9,497,682	7,995,158	6,964,108	5,538,244	6,037,906

会員数（会費納入者）

	平成20年度 (第24期)	平成21年度 (第25期)	平成22年度 (第26期)	平成23年度 (第27期)	平成24年度 (第28期)	平成25年度 (第29期)(第30期)
会員総数	3,008	3,013	3,041	3,057	3,071	3,184
新入会員数	214	228	184	249	230	246
重複会員数	20	21	18	12	11	6
	平成26年度 (第31期)	平成27年度 (第32期)				
会員総数	3,355	3,503				
新入会員数	275	311				
重複会員数	8	14				

年度毎損益

注) 平成25年9月2日付けで公益社団法人へ移行したため、公益法人会計基準（平成20年基準）を適用しています。

正味財産増減計算書

(単位:円)

科目	平成25年度(第30期) 平成25年9月2日～ 平成26年3月31日	平成26年度(第31期) 平成26年4月1日～ 平成27年3月31日	平成27年度(第32期) 平成27年4月1日～ 平成28年3月31日
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	58	2,250	1,569
受取入会金受取入会金			
入会金収益	324,000	598,000	630,000
受取会費			
会員会費収益	9,727,000	16,720,000	17,675,000
賛助会員収益	2,150,000	3,430,000	3,400,000
事業収益			
学術講演会収益	5,083,000	13,014,500	13,685,800
各種研修会等収益	1,554,900	926,356	1,942,206
会誌広告料収益	120,000	600,000	710,000
受取補助金等			
受取日臨技助成金	712,000	1,590,000	1,767,700
雑収益			
雑収益	84,803	507,411	382,743
経常収益計	19,755,761	37,388,517	40,195,018
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	3,083,964	5,091,959	4,844,493
福利厚生費	10,200	10,500	10,500
旅費交通費	1,114,689	2,140,563	1,755,600
会議費	1,499,926	3,747,364	3,615,060
通信運搬費	977,766	1,870,959	1,919,236
消耗品費	418,616	1,535,846	1,802,671
印刷製本費	1,664,117	2,871,529	3,454,825
光熱水費	105,936	175,985	164,235
学術研究費			
会場費	1,396,960	1,750,544	3,667,879
諸謝金	4,093,321	7,021,323	7,576,853
賃借料	1,217,060	2,127,209	2,119,948
広報費	79,150	120,343	131,420
情報組織費			
渉外費			
地区事業費			
各種研修会費			
各種委員会費			
支払負担金			
支払手数料	—	216	648
雑費	320,967	418,918	1,616,741
管理費			
給料手当	1,027,988	1,697,319	1,614,831
福利厚生費	3,400	3,500	3,500
旅費交通費	24,963	43,700	43,710
会議費	235,383	585,800	589,042
通信運搬費	173,454	349,423	347,363
消耗品費	39,191	453,451	726,195
印刷製本費	560,142	567,597	592,556
光熱水費	45,400	75,422	70,387
諸謝金	223,000	202,800	212,800
賃借料	521,597	911,661	908,549
広報費	20,830	31,670	32,858
支払手数料	37,480	44,810	52,304
雑費	107,345	188,766	235,761
経常費用計	19,002,845	34,039,177	38,109,965
評価損益等調整前当期経常増減額	752,916	3,349,340	2,085,053
基本財産評価損益等	—	—	—
特定資産評価損益等	—	—	—
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	752,916	3,349,340	2,085,053
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	—	—	—
(2) 経常外費用	—	—	—
当期経常外増減額	—	—	—
当期一般正味財産増減額	752,916	3,349,340	2,085,053
一般正味財産期首残高	5,001,420	5,754,336	9,103,676
一般正味財産期末残高	5,754,336	9,103,676	11,188,729
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	—	—	—
当期指定正味財産増減額	—	—	—
指定正味財産期首残高	15,000,000	15,000,000	15,000,000
指定正味財産期末残高	15,000,000	15,000,000	15,000,000
III 正味財産期末残高	20,754,336	24,103,676	26,188,729

The 65th anniversary of establishment
The 30th anniversary of corporate establishment

手翰

第2部 大阪で開催された学会

第55回日臨技近畿支部医学検査学会

- 会 期 平成27年10月17日（土）～ 18日（日）
- 会 場 大阪国際交流センター（大阪市天王寺区上本町8-2-6）
- テ ー マ 臨床検査から医療への主張 ～点から線そして面へ、臨床検査の可能性を求めて～
- 学 会 長 運天 政五郎
（一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 理事）
- 一般演題数 166題（3団体:計202題）
- 特別企画数 特別講演・・・・・・・・・・・・・・ 3企画
3団体合同企画（R-CPC）・・・・・・ 1企画
教育講演・・・・・・・・・・・・・・ 1企画
教育セミナー・・・・・・・・・・・・・・ 1企画
シンポジウム・・・・・・・・・・・・・・ 9企画
教育カンファレンス・・・・・・・・・・ 3企画
スライドカンファレンス・・・・・・ 1企画
ランチョンセミナー・・・・・・・・・・ 14企画
機器・試薬セミナー・・・・・・・・・・ 5企画
（計38企画、3団体:計41企画）
- 参加者数 2,068
- 展示企業数 29社
- 同時開催学会 第58回日本臨床検査医学会近畿支部総会
第35回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会

第55回日臨技近畿支部医学検査学会は公益社団法人大阪府臨床検査技師会が担当し、第58回日本臨床検査医学会近畿支部総会（総会長 稲葉 亨:京都府立医大 感染制御・検査医学）並びに第35回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会（学術委員長 山口宏茂:株式会社 兵庫県登録衛生検査センター）と同時開催されました。大阪府臨床検査技師会が近畿支部学会を担当するのは8年ぶりであり公益社団法人に移行後初めての学会となりました。

一般演題数は、医学検査学会から166題、日本臨床検査医学会から20題、日本衛生検査所協会から16題の応募があり計202題となり、特別企画については3団体で計41企画、展示発表会については29社の協力がありました。また、開催の2日間は天候にも恵まれ2,068名の参加があり、近畿支部医学検査学会としては過去類を見ない規模の学会となり、盛会裏に終えることができました。

平成27年度(第55回)

日臨技近畿支部医学検査学会

同時開催:第58回日本臨床検査医学会近畿支部総会
第35回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会

臨床検査から医療への主張

～点から線そして面へ、臨床検査の可能性を求めて～

会期 平成27年10月17日(土)・18日(日)

会場 大阪国際交流センター

大阪市天王寺区上本町8-2-6

- 学 会 長: 運天 政五郎 (一般社団法人日本臨床衛生検査技師会)
- 実行委員長: 吉本 勝美 (仁真会白鷺病院)

一般演題募集期間: 平成27年5月1日(金) ~ 6月30日(火)

主催: 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会近畿支部

担当: 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

学会事務局: 〒543-0016 大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師会同組合東館4階

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所

TEL:06-6763-5652 FAX:06-6763-5653

学会ホームページURL <http://www.osaka-amt.or.jp/kinki55/>

学会専用Eメールアドレス kinki55@osaka-amt.or.jp

学会チラシ（府民公開講座、全国検査と健康展）

第55回日臨技近畿支部医学検査学会 特別企画

府民公開講座



平成 27 年 10 月 18 日 (日) 13:30~15:00

「ふたごが拓く予防医学の未来」

大阪大学大学院医学系研究科附属ツインリサーチセンター
岩谷良則 先生

病気は遺伝と環境の影響を受けて発症します。そして現在、世界中で、病気と遺伝との関係が精力的に研究されています。おそらく10年~20年で、病気の発症や重症度、薬の効果や副作用などと関係する遺伝因子(DNAの塩基配列)がほぼ解明されるでしょう。そして出生時に赤ちゃんのDNAを網羅的に解析して病気の発症しやすさ等を明らかにし、その後の医療や育児に活用する時代が来るでしょう。

しかし実際に病気を発症させるのは環境です。そして環境及びその影響は修復可能です。従って環境及びそのゲノムに及ぼす影響を解明すれば、病気を予防することができます。そこで注目されるようになったのがツインリサーチ(ふたごを対象にした研究)です。

本講座では、ツインリサーチが「健康長寿の健全な社会を築くための切り札」であること、そして、ふたごが「人類にとってかけがえのない貴重な存在」であることをお話し、21世紀に実現可能な予防医学の未来をご紹介しますと思います。

同時開催

全国「検査と健康展」

- ★進んでいませんか？動脈硬化！
(頸動脈エコー検査)
- ★測ってみようヘモグロビン？
(非観血的ヘモグロビン測定)
- ★血液のなかみをのぞいてみよう！
(顕微鏡血液像)
- ★測ってみようアミラーゼ？
(唾液アミラーゼ測定)

体験コーナー

- ★なにになに？カプセル内視鏡？
(内視鏡装置のご紹介)
- ★臨床検査技師？ご存じでした？
(臨床検査技師のご紹介)
- ★国家資格「臨床検査技師免許」取るには？
(進学支援ガイダンス)

展示紹介コーナー

開催日：平成 27 年 10 月 18 日 (日)

場 所：大阪国際交流センター
(大阪市天王寺区上本町 8-2-6)

府民公開講座・・・：1F 大ホール
13:30~15:00

全国「検査と健康展」：1F ギャラリー
10:00~15:00

参加費：無料 ☆アニマルメタボメジャープレゼント！
(数に限りがあります。)

連絡先：(公社)大阪府臨床検査技師会

06-6763-5652 (月~金 13:00~16:00)



主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

学会日程

第1日目 2015年10月17日(土)

会場名 室名	総合受付 アトリウム	PC受付 アトリウム	クローク 大ホール8F	第1会場 大ホール	第2会場 小ホール	第3会場 さくら東	第4会場 さくら西	第5会場 会議室A・B	第6会場 会議室C・D	第7会場 会議室1・2	第8会場 会議室3・4	展示会場 アトリウム	学会本部 ルームG
8:00													
9:00													
10:00					10:00~10:40 一般演題 [生理] 84~87	10:00~11:10 一般演題 [微生物] 1~7	10:00~11:40 一般演題 [微生物] 8~17	10:00~11:40 一般演題 [免疫血清] 34~43	10:00~11:40 一般演題 [血液] 44~53	10:00~11:52 一般演題 [日本臨床検査 医学会] 167~182	10:00~10:50 一般演題 [緊急検査] 147~151		
11:00				10:40~11:40 日臨技企画 S-02	10:40~10:55 機器・試薬セミナーI アグライフテック関西 C-15	10:55~11:35 一般演題 [臨床化学] 60~63	11:10~11:40 一般演題 [一般] 119~121				10:50~11:40 一般演題 [病理] 76~80		
12:00					11:35~11:50 機器・試薬セミナーII 積水メディカル 株式会社 C-16								
13:00	総合受付 9:00 ↓ 16:30	PC受付 9:00 ↓ 16:30	クローク 9:00 ↓ 18:00	13:00~13:30 開会式	13:20~13:35 機器・試薬セミナーIII ロシュダイアグノ スティクス株式会社 C-17	13:20~14:30 一般演題 [輸血] 122~128	13:20~14:50 教育カンファレンスI [微生物] S-44	13:20~14:00 一般演題 [病理] 72~75	13:20~14:20 一般演題 [血液] 54~59	13:15~14:15 日本臨床検査 医学会近畿支部 評議員会・総会		展示発表会 10:00~17:00	第55回 日臨技近畿支部 医学検査学会
14:00				13:40~16:40 シンポジウムI [生理] S-08~S-11	13:35~14:15 一般演題 [臨床化学] 64~67			14:00~17:00 教育カンファレンスII [免疫血清] S-45~S-48			13:30~15:00 ミニシンポジウムI [日本衛生検査所協会] JCCLS共用基準範囲 S-58~S-59		第58回 日本臨床検査 医学会 近畿支部総会
15:00					14:15~14:30 機器・試薬セミナーIV 株式会社堀場製作所 C-18	14:30~16:30 教育講演 [血液] S-06	14:30~16:30 シンポジウムII [臨床化学] S-12~S-14	15:00~17:00 スライドカンファレンス [一般]	14:30~16:30 シンポジウムIII [病理] S-15~S-18	14:15~14:43 一般演題 [日本臨床検査医学会] 183~186			第35回 日本衛生検査所 協会 近畿支部 学術研究発表会
16:00					15:40~18:00 日臨技近畿支部 連絡会議					14:45~15:25 特別講演 [日本臨床検査医学会] S-52			学会本部 8:30~21:00
17:00						16:40~18:00 近畿技OB会				15:30~16:50 シンポジウム [日本臨床検査医学会] 臨床検査領域の産学連携 S-53~S-57			
18:00													

第2日目 2015年10月18日(日)

会場名 室名	総合受付 アトリウム	PC受付 アトリウム	クローク 大ホール8F	第1会場 大ホール	第2会場 小ホール	第3会場 さくら東	第4会場 さくら西	第5会場 会議室A・B	第6会場 会議室C・D	第7会場 会議室1・2	第8会場 会議室3・4	展示会場 アトリウム	健康展示場 ギャラリー	学会本部 ルームG
8:00														
9:00				9:00~10:00 一般演題 [学生] 152~157	9:00~11:00 3団体合同企画 教育セミナー(輸血) R-CPC S-04~S-05	9:00~9:30 教育セミナー(輸血) S-07	9:00~11:40 シンポジウムV [一般] S-23~S-25	9:00~11:40 一般演題 [生理] 88~103	9:00~10:00 一般演題 [管理運営] 132~137	9:00~11:40 一般演題 [微生物] 18~33	9:30~11:30 一般演題 [日本衛生検査所協会] 187~198			
10:00				10:00~11:00 日臨技企画 臨床検査分野での グローバルゼーション S-03		9:40~11:40 シンポジウムIV [輸血] S-19~S-22			10:00~11:30 教育カンファレンス III [細胞] S-49~S-51					
11:00				11:00~12:00 機器・試薬セミナーV ベックマンコールター 株式会社 C-19	11:00~11:15 一般演題 [学生] 158~163									
12:00	総合受付 8:00 ↓ 15:00	PC受付 8:00 ↓ 15:30	クローク 8:00 ↓ 16:30		11:15~11:45 一般演題 [遺伝子・染色体] 129~131	12:00~13:00 ランチョンセミナー X シスメックス 株式会社 C-08	12:00~13:00 ランチョンセミナー XI 和光純薬工業 株式会社 C-09	12:00~13:00 ランチョンセミナー XII 富士レピオ株式会社 C-11	12:00~13:00 ランチョンセミナー XIII 栄研化学株式会社 C-12	12:00~13:00 ランチョンセミナー XIV 協和メテックス 株式会社 C-13	12:00~13:00 ランチョンセミナー XV 株式会社カインズ C-14	展示発表会 9:00 ↓ 15:00	全国 「検査と健康展」 10:00 ↓ 15:00	第55回 日臨技 近畿支部 医学検査 学会
13:00				13:00~13:30 一般演題 [学生] 164~166	13:20~15:50 シンポジウムVI [血液] S-26~S-30	13:20~15:50 シンポジウムVII [緊急検査] S-31~S-35	13:20~15:50 シンポジウムVIII [微生物] S-36~S-39	13:20~15:20 一般演題 [生理] 104~118	13:20~15:00 シンポジウムIX [抗体管理 システム] S-40~S-43	13:20~13:50 一般演題 [細胞] 81~83	13:20~14:00 一般演題 [日本衛生検査所協会] 199~202			第58回 日本臨床 検査医学会 近畿支部 総会
14:00				13:30~15:00 府民公開講座 「ふたごが拓く 予防医学の未来」 S-01						13:50~14:10 一般演題 [教育] 138~139	14:00~15:30 ミニシンポジウムII [日本衛生検査所協会] JCCLS共用基準範囲 S-58~S-59			第35回 日本衛生 検査所協会 近畿支部 学術研究 発表会
15:00								15:00~15:40 一般演題 [臨床化学] 68~71		14:10~15:20 一般演題 [チーム医療] 140~146				学会本部 8:30 ↓ 18:00
16:00														
17:00														
18:00														

演題応募状況

一般演題

	医学検査学会							日本臨床	日本衛生	合計
	福井県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	検査医学会	検査所協会	
微生物	3		3	19	5	7	1	1	2	41
免疫血清		1		7	2	2		3	1	16
血液	2		1	8	3	1	1	3	2	21
臨床化学		1	2	6	3	2		1	4	19
病理	1			2	6	1		1		11
細胞	1			1	1			1	1	5
生理	4	1	8	10	4	6	3	3		39
一般				2		2			3	7
公衆衛生				1						1
輸血				3	3	1			1	8
情報システム										
遺伝子、染色体	1			1	1	1				4
管理運営			1	2	1	2		5	2	13
教育				1	1		1			3
チーム医療				4	1	2		2		9
緊急検査				4			1			5
総合計	12	3	15	71	31	27	7	20	16	202

特別企画

	医学検査学会	日本臨床検査医学会	日本衛生検査所協会	合計
特別講演	3	1		4
3団体合同企画	1	1	1	3
教育講演	1			1
教育セミナー	1			1
シンポジウム	9	1	2	12
教育カンファレンス	3			3
スライドカンファレンス	1			1
ランチョンセミナー	14			14
機器・試薬セミナー	5			5

特別企画プログラム

府民公開講座

第2日目 10月18日 第1会場 (大ホール)

< 13:30 ~ 15:00 > 司会: 稲葉 亨

(第58回日本臨床検査医学会近畿支部総会 総会長/京都府立医大 感染制御・検査医学)

【S-01】 ふたごが拓く予防医学の未来…………… 岩谷 良則

日臨技企画

第1日目 10月17日 第1会場 (大ホール)

< 10:40 ~ 11:40 > 司会: 中町 祐司

(一般社団法人日本臨床衛生検査技師会近畿支部 支部長/神戸大学医学部附属病院)

【S-02】 2025年に向けての“決断”とは、～検体採取の先にあるものは、～… 宮島 喜文

大臨技企画

第2日目 10月18日 第1会場 (大ホール)

< 10:00 ~ 11:00 > 司会: 運天 政五郎 (一般社団法人日本臨床衛生検査技師会)

【S-03】 臨床検査分野でのグローバル化…………… 坂本 秀生

3団体合同企画「R - CPC」

第2日目 10月18日 第2会場 (小ホール)

< 9:00 ~ 11:00 > 【S-04】 1. 症例 1: 類天疱瘡のため入院した 74 歳男性

座長: 河野 誠司 (神戸大学医学部附属病院 総合臨床教育センター)

症例提示: 下村 大樹 (天理よろず相談所病院 臨床検査部)

中村 文彦 (天理よろず相談所病院 臨床検査部)

解説者: 藤本 一満 (ファルコバイオシステムズ総合研究所 検査一課)

田邊 正喜 (彦根市立病院 臨床検査科)

【S-05】 2. 症例 2: 発熱を主訴に来院した 79 歳男性

座長: 宮崎 彩子 (兵庫医科大学 臨床検査医学)

症例提示: 中西 雅樹 (京都府立医科大学 感染制御・検査医学)

解説者: 今井 重良 (大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部)

永井 直治 (天理よろず相談所病院 臨床検査部)

教育講演 血液

第1日目 10月17日 第2会場 (小ホール)

< 14:30 ~ 15:30 > 司会: 梅村 茂人 (滋賀県立成人病センター)

【S-06】 血液検査分野の国際的標準化の流れ…………… 近藤 弘

教育セミナー 輸血・細胞治療

第2日目 10月18日 第3会場 (さくら東)

< 9:00 ~ 9:30 > 司会: 大西 修司 (関西医科大学附属枚方病院)

【S-07】 実例から考えるリスク回避…………… 井上 和子

シンポジウムⅠ 生理

第1日目 10月17日 第1会場 (大ホール)

< 13:40 ~ 16:40 > 生理検査におけるパニック値

司会：安保 浩二 (大阪市立大学医学部附属病院)

増田 信弥 (京都民医連中央病院)

[S-08] 1. 当院における心電図パニック値の対応……………津田 裕美子

[S-09] 2. 心エコー図におけるパニック像……………大前 嘉良

[S-10] 3. 腹部超音波のパニック値とは？……………脇 英彦

[S-11] 4. 神経生理検査における速報データ……………小林 昌弘

シンポジウムⅡ 臨床化学

第1日目 10月17日 第3会場 (さくら東)

< 14:30 ~ 16:30 > ブラックボックス化している自動分析装置を技師の手に取り戻す

司会：東 正浩 (市立敦賀病院)

元中 秀行 (近江八幡市立総合医療センター)

[S-12] 1. タイムコースの吸光度を利用した生化学分析装置のトラブル箇所検出方法……………猪田 猛久

[S-13] 2. ブラックボックス化した機器を取り戻す……………山本 裕之

[S-14] 3. 2つの性格の異なる分析機を比べて……………和田 哲

シンポジウムⅢ 病理

第1日目 10月17日 第6会場 (会議室C・D)

< 14:30 ~ 16:30 > 認定病理検査技師に求められるもの

司会：三原 勝利 (独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター)

枡尾 茂 (奈良県西和医療センター)

[S-15] 1. 認定病理検査師制度について……………吉澤 明彦

[S-16] 2. 認定病理検査技師に求められるもの……………滝野 寿

[S-17] 3. 認定試験を受験するにあたり必要なこと……………小林 真

[S-18] 4. 認定病理検査技師の立場としてこれからの活動と抱負……………稲垣 充也

シンポジウムⅣ 輸血・細胞治療

第2日目 10月18日 第3会場 (さくら東)

< 9:40 ~ 11:40 > 輸血療法委員会の活動 ～輸血療法委員会は機能していますか？～

司会：多気 秀和 (京都第一赤十字病院)

森井 耕治 (和歌山労災病院)

[S-19] 1. 中小規模病院における輸血療法委員会～機能させるための苦悩～……………吉田 正明

[S-20] 2. 輸血療法委員会を通じた他職種との連携……………押野 寛美

[S-21] 3. 当院の輸血療法委員会 (輸血部運営部会) について……………清川 知子

[S-22] 4. 兵庫県合同輸血療法委員会の取り組み～ワーキンググループの活動～……………坊池 義浩

シンポジウムⅤ 一般

第2日目 10月18日 第4会場 (さくら西)

< 9:00 ~ 11:40 > 尿検査から考える病態把握 ～尿沈渣検査の付加価値を高めるには～

司会：大沼 健一郎 (国立大学法人 神戸大学医学部附属病院)

小山 賢 (京都桂病院 検査科)

[S-23] 1. 血尿症例 臨床的に有用な赤血球形態情報の報告について考える……………堀田 真希

[S-24] 2. 尿検査から考える病態把握 ～尿沈渣検査の付加価値を高めるには～……………佐伯 仁志

[S-25] 3. 尿路感染症症例 尿中白血球や細菌の報告について考える……………北川 大輔

シンポジウムⅥ 血液

第2日目 10月18日 第2会場 (小ホール)

< 13:20 ~ 15:50 > 悪性リンパ腫の細胞像・関連検査と治療

司会：森下 陽子 (日本赤十字社 和歌山医療センター)

吉川 慎一 (吹田市民病院)

- 【S-26】 1. 末梢血&骨髄像で観察されるリンパ腫細胞…………… 田辺 祐也
- 【S-27】 2. 体腔液で観察されるリンパ腫細胞…………… 三村 喜彦
- 【S-28】 3. フローサイトメトリー…………… 山口 直子
- 【S-29】 4. 悪性リンパ腫に認められる染色体・遺伝子異常…………… 市村 剛
- 【S-30】 5. 悪性リンパ腫における治療…………… 村頭 智

シンポジウムⅦ 緊急検査

第2日目 10月18日 第3会場 (さくら東)

< 13:20 ~ 15:50 > 救急初期診療における臨床検査 ～意識障害における病態把握と原因検索～

司会：津田 喜裕 (大阪府立中河内救命救急センター)

胡内 久美子 (奈良県総合医療センター)

- 【S-31】 1. 救急検査総論…………… 竹下 仁
- 【S-32】 2. 血液ガス分析…………… 元中 秀行
- 【S-33】 3. 輸血検査 (緊急・大量輸血)…………… 池本 純子
- 【S-34】 4. 薬物分析…………… 福岡 京子
- 【S-35】 5. 意識障害をきたす感染症に対する微生物学的検査のアプローチ…………… 中村 彰宏

シンポジウムⅧ 微生物

第2日目 10月18日 第4会場 (さくら西)

< 13:20 ~ 15:50 > 技術と臨床の相互関係 (検査技術の発展と臨床への有用性)

司会：口広 智一 (公立那賀病院)

市村 佳彦 (大阪赤十字病院)

- 【S-36】 1. ナノテクノロジーを応用した感受性測定の簡易迅速化…………… 松本 佳巳
- 【S-37】 2. 市中病院での POT 法導入について…………… 近澤 秀己
- 【S-38】 3. MALDI-TOF MS の微生物検査への応用…………… 中村 竜也
- 【S-39】 4. 感染症対策を考慮した感染症検査への期待…………… 藤田 直久

シンポジウムⅨ 検体管理システム

第2日目 10月18日 第6会場 (会議室 C・D)

< 13:20 ~ 15:00 > 認定制定から 10 年を経過した ISO15189 の最新状況

司会：角坂 芳彦 (関西医科大学附属枚方病院)

大江 泰浩 (西日本旅客鉄道株式会社 健康増進センター)

- 【S-40】 1. ISO15189 本邦での歴史と最新情報…………… 下田 勝二
- 【S-41】 2. ISO15189 取得経験…………… 樋口 武史
- 【S-42】 3. 臨床検査室に国際基準を ～きっかけは、国際共同治験だった～…………… 笠井 宏委
- 【S-43】 4. ISO15189 と臨床検査システムの標準化…………… 井口 健

教育カンファレンスⅠ 微生物

第1日目 10月17日 第4会場 (さくら西)

< 13:20 ~ 14:50 > 次代を担う技師の育成と取り巻く環境について

司会：幸福 知己 (住友病院)

【S-44】 次代を担う技師の育成と取り巻く環境について…………… 小森 敏明

教育カンファレンスⅡ 免疫血清

第1日目 10月17日 第5会場 (会議室 A・B)

< 14:00 ~ 17:00 > 教えます！免疫学的検査結果解釈のコツ

司会：川原 宏恵 (大阪市立大学医学部附属病院)

中尾 光孝 (国保日高総合病院)

【S-45】 1. 免疫学的測定方法が今後向かうべき道…………… 福田 滋弘

【S-46】 2. 免疫学的検査結果解釈の極意を教育する…………… 山本 憲司

【S-47】 3. 感染症検査…………… 松川 裕一

【S-48】 4. 免疫学的検査結果の変動要因を理解して結果解釈に活かす！…………… 石井 里佳

教育カンファレンスⅢ 細胞

第2日目 10月18日 第6会場 (会議室 C・D)

< 10:00 ~ 11:30 > 子宮内膜細胞診のスキルアップを目指して

司会：江口 光徳 (医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院)

水野 幸恵 (福井県立病院)

【S-49】 1. 悪性と紛らわしい細胞像を呈する良性病変について…………… 小椋 聖子

【S-50】 2. Conventional 標本における構造異型を加味した判定基準…………… 岩井 宗男

【S-51】 3. LBC 検体処理材料の見方…………… 西川 武

スライドカンファレンス 一般

第1日目 10月17日 第4会場 (さくら西)

< 15:00 ~ 17:00 > 一般検査スライドカンファレンス ～スマホであなたも挑戦～

司会：堀田 真希 (国立大学法人 大阪大学医学部附属病院)

佐伯 仁志 (国立病院機構東近江総合医療センター)

1. 尿沈渣成分…………… 増永 慎也 (福井大学医学部附属病院)

2. 体腔液 (髄液含む) 成分…………… 仲間 美乃 (京都桂病院)

3. 寄生虫分野…………… 鈴木 恭子 (紀南病院)

特別講演 日本臨床検査医学会

第1日目 10月17日 第7会場 (会議室 1・2)

< 14:45 ~ 15:25 > 司会：藤田 直久 (京都府立医科大学 感染制御・検査医学)

【S-52】 なぜ、不整脈は起こるのか - 心電図から心臓機能分子イメージングへ…… 田中 秀央

シンポジウム 日本臨床検査医学会

第1日目 10月17日 第7会場 (会議室1・2)

<15:30～16:50> 臨床検査領域の産学連携

司会：稲葉 亨

(第58回日本臨床検査医学会近畿支部総会 総会長/京都府立医大 感染制御・検査医学)
池本 敏行 (大阪医科大学附属病院 中央検査部)

- [S-53]** 1. 企業の立場から「シスメックスにおける産官学の連携事例」
～診断効果向上のための新規検査項目の開発～…………… 谷口 充
- [S-54]** 2. 企業の立場から「京都府立医科大学における共同研究講座での経
験」…………… 齊藤 憲祐
- [S-55]** 3. 企業の立場から「医療機関と検査センターの新しい連携の取組
み」…………… 瀬戸山 友一
- [S-56]** 4. アカデミアの立場から「臨床検査に期待される役割」
～再生医療をケースに～…………… 今井 浩二郎
- [S-57]** 5. アカデミアの立場から「多様な連携のあり方」
～兵庫医科大学臨床検査部での経験～…………… 小柴 賢洋

ミニシンポジウム I 日本衛生検査所協会

第1日目 10月17日 第8会場 (会議室3・4)

<13:30～15:00> JCCLS 共用基準範囲採用に向けて ～衛生検査所としての準備～

座長：寺尾 伸一 (日本衛生検査所協会学術委員会委員 / 株式会社キューリン)

- [S-58]** 1. JCCLS 共用基準範囲の登録衛生検査所の取り組み…………… 奥原 俊彦
- [S-59]** 2. 衛生検査所における「検査情報の判断基準」利用の現状…………… 関 顕

ミニシンポジウム II 日本衛生検査所協会 (ミニシンポジウム I と同内容)

第2日目 10月18日 第8会場 (会議室3・4)

<14:00～15:30> JCCLS 共用基準範囲採用に向けて ～衛生検査所としての準備～

座長：藤本 一満 (倉敷芸術科学大学)

- [S-58]** 1. JCCLS 共用基準範囲の登録衛生検査所の取り組み…………… 奥原 俊彦
- [S-59]** 2. 衛生検査所における「検査情報の判断基準」利用の現状…………… 関 顕

共催セミナープログラム

ランチョンセミナーⅠ

第1日目 10月17日 第2会場 (小ホール)

<12:00 ~ 13:00 > 共催: アボットジャパン株式会社

司会: 堀田 真希 (大阪大学医学部附属病院 医療技術部 検査部門)

[C-01] 急性腎障害マーカーとしての尿中 NGAL
森 潔 (京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター)

ランチョンセミナーⅡ

第1日目 10月17日 第3会場 (さくら東)

<12:00 ~ 13:00 > 共催: 大塚製薬株式会社

司会: 谷川 崇 (府中病院 臨床検査室)

[C-02] 全員除菌時代の胃がん対策 ~ピロリ菌検査の果たす役割と課題~
間部 克裕 (北海道大学大学院医学研究科がん予防内科学)

ランチョンセミナーⅢ

第1日目 10月17日 第4会場 (さくら西)

<12:00 ~ 13:00 > 共催: ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

司会: 藤原 規弘

(ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 サイエンティフィックソリューション
部門 免疫・生化学部 大阪グループ)

[C-03] 検査室トータルソリューションとインベティブマーカー
高安 恵幸 (ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 LCM 部門 免疫・生化学検査部)

ランチョンセミナーⅣ

第1日目 10月17日 第5会場 (会議室 A・B)

<12:00 ~ 13:00 > 共催: ベックマン・コールター株式会社

司会: 久保田 浩 (大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部 病理診断科)

[C-04] Unicel DxH800 ~細胞判読における表面プロットの可能性~
西原 佑昇 (パナソニック健康保険組合 松下記念病院 中央臨床検査部)

ランチョンセミナーⅤ

第1日目 10月17日 第6会場 (会議室 C・D)

<12:00 ~ 13:00 > 共催: 積水メディカル株式会社

司会: 木村 秀樹 (福井大学医学部附属病院 検査部)

[C-05] 新規尿中バイオマーカー L-FABP による腎疾患管理
菅谷 健 (聖マリアンナ医科大学 腎臓高血圧内科 客員教授)

ランチョンセミナーⅥ

第1日目 10月17日 第7会場 (会議室 1・2)

<12:00 ~ 13:00 > 共催: ニプロ株式会社

司会: 坂本 秀生 (神戸常盤大学保健科学部 医療検査学科)

[C-06] 質の高い糖尿病診療における血糖管理 ~POCTでの実践~
桑 克彦 (国立研究開発法人産業技術総合研究所 物質計測標準研究部門)

ランチョンセミナーⅦ

第1日目 10月17日 第8会場 (会議室3・4)

<12:00～13:00> 共催： Bristol Myers Squibb株式会社

司会： 山崎 正晴 (奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部)

【C-07】 C型肝炎治療のイノベーションによって今後、臨床検査に期待される役割
～HCV撲滅を目指して今できることとは？～

角田 圭雄 (京都市立医科大学大学院医学研究科 消化器内科学)

ランチョンセミナーⅧ

第2日目 10月18日 第2会場 (小ホール)

<12:00～13:00> 共催： シスメックス株式会社

司会： 出口 松夫 (大阪大学医学部附属病院 医療技術部 検査部門)

【C-08】 C型肝炎治療の変遷と将来展望

竹原 徹郎 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学 教授)

ランチョンセミナーⅨ

第2日目 10月18日 第3会場 (さくら東)

<12:00～13:00> 共催： シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

【C-09】 肝線維化評価の指標 ELF スコアの可能性

浅野 寛道 (シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社 CAI 事業部)

ランチョンセミナーⅩ

第2日目 10月18日 第4会場 (さくら西)

<12:00～13:00> 共催： 和光純薬工業株式会社

司会： 角坂 芳彦 (関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部)

【C-10】 高血圧症患者治療における原発性アルドステロン症診断の意義と新規診断法の開発

佐藤 文俊

(東北大学大学院 医学系研究科 難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携寄附講座)

ランチョンセミナーⅩⅠ

第2日目 10月18日 第5会場 (会議室A・B)

<12:00～13:00> 共催： 富士レビオ株式会社

【C-11】 B型肝炎検査マーカーの最近の話題

福田 雅之助 (富士レビオ株式会社 学術サービス部)

ランチョンセミナーⅩⅡ

第2日目 10月18日 第6会場 (会議室C・D)

<12:00～13:00> 共催： 栄研化学株式会社

司会： 小田嶋 康雄 (公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 臨床検査部)

【C-13】 全自動尿分析装置 US-3500 の性能評価と尿蛋白試験紙の新たな知見

井本 真由美 (近畿大学医学部附属病院 中央臨床検査部)

ランチョンセミナーXIII

第2日目 10月18日 第7会場 (会議室1・2)

- < 12:00 ~ 13:00 > 共催：協和メデックス株式会社
司会：中村 文彦 (公益社団法人天理よろづ相談所病院 臨床検査部 部長)
【C-13】 B型肝炎ウイルス再活性化対策：何を、どう伝えるか？
～検査室から臨床現場への情報発信を考える～
山崎 正晴 (奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部 部長)

ランチョンセミナーXIV

第2日目 10月18日 第8会場 (会議室3・4)

- < 12:00 ~ 13:00 > 共催：株式会社カイノス
司会：村本 良三 (埼玉医科大学 保健医療学部 健康医療科学科 准教授)
【C-14】 検査室に知って欲しい項目「カルニチン」
宿屋 敬 (株式会社カイノス 学術部)

機器・試薬セミナーI

第1日目 10月17日 第2会場 (小ホール)

- < 10:40 ~ 10:55 > 共催：フクダライフテック関西株式会社
【C-15】 「睡眠評価装置 ソムノスクリーン」～睡眠医療はワイヤレスの時代へ～
福西 心幸 (フクダライフテック関西株式会社)

機器・試薬セミナーII

第1日目 10月17日 第2会場 (小ホール)

- < 11:35 ~ 11:50 > 共催：積水メディカル株式会社
【C-16】 蛋白質分析装置ラピッドピア®で測定可能な循環器系疾患関連マーカー
安田 貴志 (積水メディカル株式会社 カスタマーサポートセンター 学術グループ)

機器・試薬セミナーIII

第1日目 10月17日 第2会場 (小ホール)

- < 13:20 ~ 13:35 > 共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
【C-17】 トロポニンT測定の世界と将来性
川口 宗宜
(ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社 サイエンティフィックソリューション部門 免疫・生化学部)

機器・試薬セミナーIV

第1日目 10月17日 第2会場 (小ホール)

- < 14:15 ~ 14:30 > 共催：株式会社 堀場製作所
【C-18】 全血微量検体を用いたCBCとCRPの同時測定装置の紹介
石塚 勝敏 (株式会社 堀場製作所)

機器・試薬セミナーV

第2日目 10月18日 第2会場 (小ホール)

< 11:00 ~ 11:15 > 共催：ベックマン・コールター株式会社

【C-19】 化学発光酵素免疫法 (CLEIA法) : アクセス AMH (研究用)……………
深澤 美央
(ベックマン・コールター株式会社 ダイアグノスティックス学術統括部門 免疫・生化学)

協賛企業一覧 (50音順)

■ 広告掲載

アークレイマーケティング株式会社
 アボットジャパン株式会社
 アルフレッサファーマ株式会社
 アレクシオン ファーマ合同会社
 石黒メディカルシステム株式会社
 株式会社エイアンドティー
 栄研化学株式会社
 株式会社エスアールエル
 株式会社 LSI メディエンス
 オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
 株式会社関薬
 協和メデックス株式会社
 近畿臨床検査薬卸連合会
 小西医療器株式会社
 株式会社三和化学研究所
 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社
 シスメックス株式会社
 株式会社シノテスト
 積水メディカル株式会社
 株式会社テクノメディカ
 テルモ株式会社
 東芝メディカルシステムズ株式会社
 日水製薬株式会社
 ニットーボーメディカル株式会社
 ニプロ株式会社
 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社
 ノバルティスファーマ株式会社
 バイエル薬品株式会社
 バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社
 株式会社ビー・エム・エル
 株式会社ファルコバイオシステムズ
 フクダ電子近畿販売株式会社
 富士レビオ株式会社
 Meiji Seika ファルマ株式会社
 八洲薬品株式会社
 ヤマサ醤油株式会社
 ヤンセンファーマ株式会社
 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
 和光純薬工業株式会社

■ 展示発表会

アークレイマーケティング株式会社
 アジア器材株式会社
 アボットジャパン株式会社
 株式会社医学生物学研究所
 株式会社エイアンドティー
 栄研化学株式会社
 株式会社 LSI メディエンス
 オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社
 大塚製薬株式会社
 株式会社オネスト
 株式会社三和化学研究所
 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス株式会社
 シスメックス株式会社
 積水メディカル株式会社
 株式会社タウンズ
 株式会社テクノメディカ
 デンカ生研株式会社
 東芝メディカルシステムズ株式会社
 東ソー株式会社
 東洋羽毛関西販売株式会社
 ニプロ株式会社
 日本電子株式会社
 株式会社日立ハイテクノロジーズ
 フクダ電子近畿販売株式会社
 ベックマン・コールター株式会社
 株式会社ミズホメディー
 ラジオメーター株式会社
 ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
 和光純薬工業株式会社

■ランチョンセミナー

アボットジャパン株式会社
栄研化学株式会社
大塚製薬株式会社
株式会社カイノス
協和メデックス株式会社
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
シスメックス株式会社
積水メディカル株式会社
ニプロ株式会社
富士レビオ株式会社
ブリストルマイヤーズ株式会社
ベックマン・コールター株式会社
ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
和光純薬工業株式会社

■機器・試薬セミナー

積水メディカル株式会社
フクダライフテック関西株式会社
ベックマン・コールター株式会社
株式会社 堀場製作所
ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

■寄付

エーディア株式会社
株式会社大阪血清微生物研究所
CSL ベーリング株式会社
シャイアー・ジャパン株式会社
株式会社ニコンインステック
日本医学株式会社
バクスアルタ株式会社
松浪硝子工業株式会社
宮島医学機器有限会社

■名札ケース協賛

株式会社 LSI メディエンス

■コンgresバッグ協賛

シスメックス株式会社

■ドリンクコーナー（コーヒーコーナー）協賛

東洋羽毛関西販売株式会社

■クローク担当

アルフレッサ株式会社
株式会社 関薬
株式会社 ケーエスケー
不二化学薬品株式会社
八洲薬品株式会社

実行委員

学 会 長	運 天 政五郎																		
実行委員長	吉 本 勝 美																		
事務局長	清 水 隆 之																		
実行委員	竹 浦 久 司	高 田 厚 照	酒 井 正 容	宮 野 章															
	田 畑 泰 弘	山 田 真 規 子	荒 木 年 夫	井 戸 田 篤															
	山 西 八 郎	増 田 詩 織	上 田 一 仁	安 保 浩 二															
	出 野 憲 由	後 藤 真 理 子	井 口 健	栗 本 幸 司															
	久 保 田 芽 里	岡 本 秀 雄	栗 本 誠 一	柴 芳 浩															
	杉 山 昌 晃	梶 勝 史	岩 崎 和 子	出 口 由 紀 子															

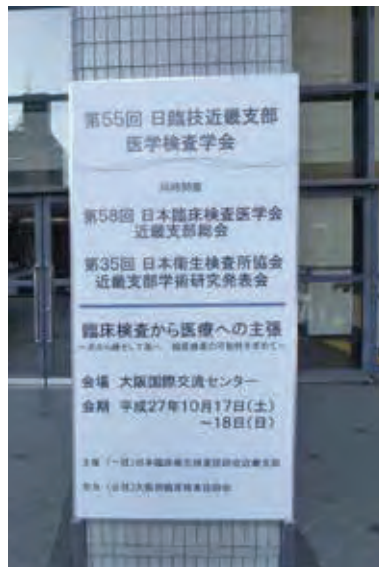
運営委員

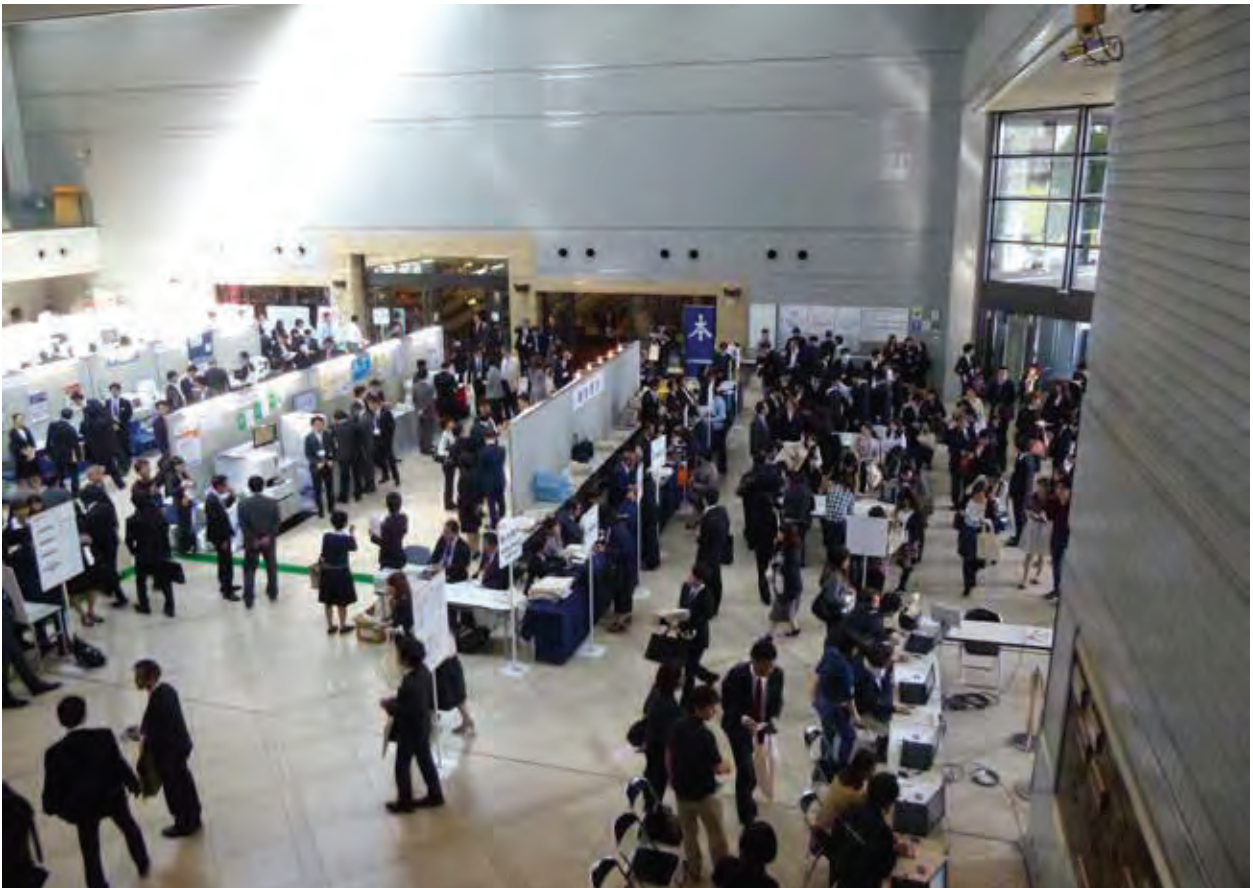
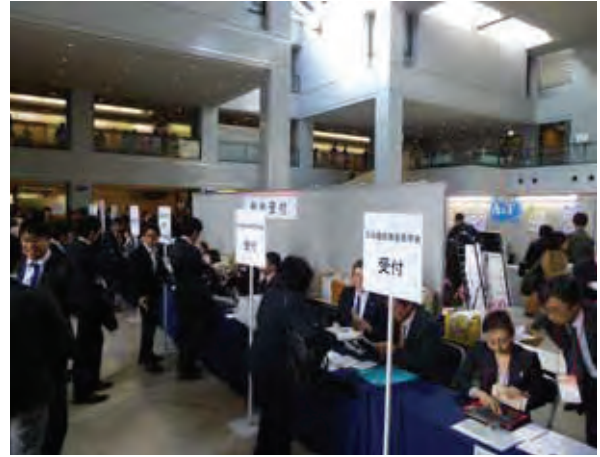
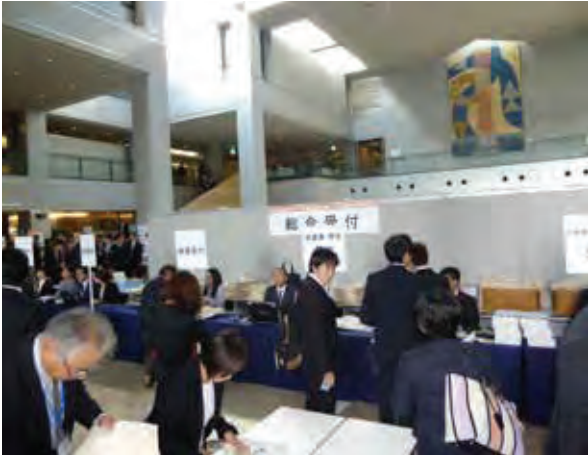
担当会場		担当日時	担当日時	担当日時
		平成27年10月16日(金)	平成27年10月17日(土) 9:00~17:00	平成27年10月18日(日) 8:00~16:00
	担当業務	氏名	氏名	氏名
総合受付	責任者	増田 詩織 (理事)	増田 詩織 (理事)	増田 詩織 (理事)
	副責任者	岡本 秀雄 (理事)	岡本 秀雄 (理事)	岡本 秀雄 (理事)
	受付(会員1)		北川 富規子 (渉外)	北川 富規子 (渉外)
	受付(会員1)	浅田 薫 (渉外)	浅田 薫 (渉外)	浅田 薫 (渉外)
	受付(会員2)		森川 真弓 (渉外)	森川 真弓 (渉外)
	受付(会員2)		川井 和久 (渉外)	川井 和久 (渉外)
	受付(会員3)		赤木 征宏 (渉外)	赤木 征宏 (渉外)
	受付(会員3)	北川 篤 (渉外)	北川 篤 (渉外)	北川 篤 (渉外)
	受付(会員4)		堀井 邦寿 (渉外)	堀井 邦寿 (渉外)
	受付(会員4)		緑川 沙弥 (市立豊中)	緑川 沙弥 (市立豊中)
	受付(非会員・協賛企業)		市場 絵美子 (市立豊中)	市場 絵美子 (市立豊中)
	受付(非会員・協賛企業)		川淵 靖司 (大阪労災)	川淵 靖司 (大阪労災)
	総合案内	名嘉 正勝 (渉外)	名嘉 正勝 (渉外)	名嘉 正勝 (渉外)
	総合案内		岩崎 和敏 (日本臨床)	岩崎 和敏 (日本臨床)
				川口 あかり (市立豊中)
		受付(検査医)		
	受付(日衛協)			
事務局	会計(責任者)	荒木 年夫 (監事)	荒木 年夫 (監事)	荒木 年夫 (監事)
	(副責任者)	杉山 昌晃 (理事)	杉山 昌晃 (理事)	杉山 昌晃 (理事)
		久保田 芽里 (理事)	久保田 芽里 (理事)	久保田 芽里 (理事)
	事務局担当		岩崎 和子 (事務局)	岩崎 和子 (事務局)
			出口 由紀子 (事務局)	出口 由紀子 (事務局)
第1会場 大ホール 1000名	会場責任者		田畑 泰弘 (理事)	田畑 泰弘 (理事)
	会場副責任者		喜舎場 智之 (南地)	喜舎場 智之 (南地)
	会場副責任者		松倉 嘉士 (地)	松倉 嘉士 (地)
	照明係		浅沼 晴雄 (中央)	浅沼 晴雄 (中央)
	運営責任者		川崎 俊博 (生理)	運天 政五郎 (学会長)
	PC補助		小宮山 恭弘 (情)	濱田 宏輝 (北地)
	PC映写		近ツリ	近ツリ
	進行係		武岡 真由美 (地)	武岡 真由美 (地)
	進行・時計係		岩津 浩子 (北地)	岩津 浩子 (北地)
第2会場 小ホール 200名	会場責任者	出野 憲由 (理事)	出野 憲由 (理事)	出野 憲由 (理事)
	会場副責任者・照明		東山 智宣 (北地)	東山 智宣 (北地)
	運営責任者		稲田 孝 (血液)	稲田 孝 (血液)
	PC映写		近ツリ 近ツリ	
	進行係		八木 美智子 (情)	八木 美智子 (情)
	進行・時計係		近藤 進平 (情)	近藤 進平 (情)
第3会場 さくら東	会場責任者	朴 國允 (情)	朴 國允 (情)	朴 國允 (情)
	会場副責任者・照明		前田 岳宏 (南地)	前田 岳宏 (南地)
	運営責任者		山中 良之 (臨床化学)	大西 修司 (輸血)
	運営責任者			津田 喜裕 (緊急)
	PC映写係		近ツリ	近ツリ
	進行係		高田 裕子 (地)	高田 裕子 (地)
	進行・時計係		竹山 佳織 (総務)	竹山 佳織 (総務)

第4会場 さくら西 200名	会場責任者	後藤 真理 (前理事)	後藤 真理 (前理事)	後藤 真理 (前理事)
	会場副責任者・照明		山本 章史 (近臨)	山本 章史 (近臨)
	運営責任者		市村 佳彦 (微生物)	市村 佳彦 (微生物)
	運営責任者		堀田 真希 (一般)	堀田 真希 (一般)
	PC映写係		近ツリ	近ツリ
	進行		笹垣 貴美 (情)	橋本 真希 (一般)
	進行・時計		松本 典久 (北地)	松本 典久 (北地)
第5会場 会議室 AB 90名	会場責任者	上田 一仁 (理事)	上田 一仁 (理事)	上田 一仁 (理事)
	会場副責任者・照明		森 啓悟 (中央)	森 啓悟 (中央)
	運営責任者		山本 憲司 (免疫血清)	
	PC映写		近ツリ	近ツリ
	進行係		是永 愛 (情)	是永 愛 (情)
	進行・時計係		池田 勝美 (情)	池田 勝美 (地)
第6会場 会議室 CD 90名	会場責任者	安保 浩二 (理事)	安保 浩二 (理事)	安保 浩二 (理事)
	会場副責任者・照明		山城 久和 (中央)	山城 久和 (中央)
	運営責任者		三原 勝利 (病理細胞)	三原 勝利 (病理細胞)
	運営責任者			尾崎 幸雄 (検体管理)
	PC映写		近ツリ	近ツリ
	進行係		安江 智美 (情)	安江 智美 (情)
	進行・時計係		和田 恭典 (地)	和田 恭典 (地)
第7会場 会議室 1.2 76名	会場責任者		臨床検査医学会	栗本 幸司 (前理事)
	会場副責任者・照明			大西 正信 (中央)
	PC映写		近ツリ	近ツリ
	進行係			下本 知子 (地)
	進行・時計係			山中 良之 (南地)
第8会場 (午前) 会議室 3.4 76名	会場責任者	井口 健 (理事)	井口 健 (理事)	日衛協
	会場副責任者		小林 渉 (一般)	
	照明係		石倉 果林 (病理細胞)	
	PC映写		近ツリ	近ツリ
	進行係		橋本 真希 (一般)	
	進行・時計係		岡部 美由紀 (病理細胞)	
第8会場 (午後) 会議室 3.4 76名	会場責任者		日衛協	日衛協
	会場副責任者・照明			
	PC映写		近ツリ	近ツリ
	進行係			
	進行・時計係			
PC受付	責任者	宮野 章 (前理事)	宮野 章 (前理事)	宮野 章 (前理事)
	副責任者		中島 康仁 (自宅)	中島 康仁 (自宅)
	演者受付		山下 亘 (大阪市立大学医学部附属病院)	山下 亘 (大阪市立大学医学部附属病院)
	座長・司会者受付		竹村 真俊 (JCHO大阪病院)	竹村 真俊 (JCHO大阪病院)
クローク	責任者		明堂 典弘 (多根総合病院)	明堂 典弘 (多根総合病院)
	クローク		足立 晃一 (ケーエスケー)	清田 俊弘 (アルフレッサ)
	クローク		桑田 和彦 (不二化学)	大槻 雅樹 (アルフレッサ)
	クローク		藤本 剛平 (八洲薬品)	小篠 猛 (アルフレッサ)
	クローク		渡辺 勇人 (関薬)	森下 直樹 (アルフレッサ)
	クローク		中西 亮平 (関薬)	廿日岩 裕司 (アルフレッサ)

本部	学会長	運天 政五郎 (前会長)	運天 政五郎 (前会長)	運天 政五郎 (前会長)
	会長	竹浦 久司 (会長)	竹浦 久司 (会長)	竹浦 久司 (会長)
	実行委員長	吉本 勝美 (副会長)	吉本 勝美 (副会長)	吉本 勝美 (副会長)
	副実行委員長	高田 厚照 (副会長)	高田 厚照 (副会長)	高田 厚照 (副会長)
	事務局長	清水 隆之 (理事)	清水 隆之 (理事)	清水 隆之 (理事)
	事務局次長	酒井 正容 (理事)	酒井 正容 (理事)	酒井 正容 (理事)
	開会式担当	田畑 泰弘 (理事)	田畑 泰弘 (理事)	田畑 泰弘 (理事)
	運営担当(懇親会)		井口 健 (理事)	井口 健 (理事)
	学生担当		山西 八郎 (理事)	山西 八郎 (理事)
	施設担当	岡部 文雄 (総務)	岡部 文雄 (総務)	岡部 文雄 (総務)
	学術担当	井戸田 篤 (理事)	井戸田 篤 (理事)	井戸田 篤 (理事)
	広報担当	山田 真規子 (理事)	山田 真規子 (理事)	山田 真規子 (理事)
			真鍋 史朗 (総務)	真鍋 史朗 (総務)
		上遠野 明 (総務)	三上 英子 (総務)	
	伊東 千絵 (総務)	伊東 千絵 (総務)		
検査と 健康展	責任者	梶 勝史 (理事)	梶 勝史 (理事)	
	副責任者		山本 裕之 (渉外)	
			夏秋 知佳 (渉外)	

第55回日臨技近畿支部医学検査学会 写真集

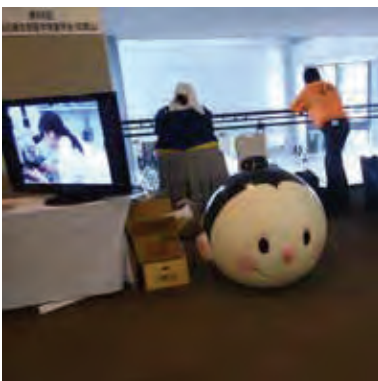




「海外へ目を向ける」
＝「海外へ行く」だけでない

- 日本から情報発信をすることも必要
- 日本国内のみで生活しても、国際状況に合わせるを得ない時代になりつつある
 - －ISO15189、CAP等の臨床検査室認定を受け
 - －Joint Commission International (JCI)から病院全体の国際医療機関認証を受ける
- メディカルツーリズムの受け手になることもある
 - －政府が後押しをしようとしている









The 65th anniversary of establishment
The 30th anniversary of corporate establishment

年輪

第3部 資料

大阪府臨床検査技師会 役員

■平成20・21年度役員

会 長	今井 宣子	大阪大学大学院
副 会 長	運天 政五郎	橘会東住吉森本病院
副 会 長	竹浦 久司	きつこう会多根総合病院
常務理事	吉本 勝美	仁真会白鷺病院
常務理事	高田 厚照	関西医科大学附属枚方病院
理 事	大垣 孝雄	株式会社ケーエスケー
理 事	清水 隆之	市立豊中病院
理 事	荒木 年夫	株式会社大阪血清微生物研究所
理 事	田畑 泰弘	育和会記念病院
理 事	高橋 義弘	大阪医科大学附属病院
理 事	井戸田 篤	大阪府立成人病センター
理 事	出野 憲由	大阪労災病院
理 事	山田 真規子	サイトサポート・インスティテュート株式会社
理 事	宮野 章	大阪府立母子保健総合医療センター
理 事	酒井 正容	生長会府中病院
理 事	栗本 幸司	竹村医学研究会小阪産病院
理 事	山西 八郎	大阪大学医学部附属病院
理 事	小宮山 恭弘	大阪鉄道病院
監 事	東野 健一	生長会ベルキッチン
監 事	村上 澄子	大阪医科大学附属病院

■平成22・23年度役員

会 長	今井 宣子	大阪大学大学院
副 会 長	運天 政五郎	橘会東住吉森本病院
副 会 長	竹浦 久司	きつこう会多根総合病院
常務理事	吉本 勝美	仁真会白鷺病院
常務理事	高田 厚照	関西医科大学香里病院
理 事	大垣 孝雄	株式会社ケーエスケー
理 事	清水 隆之	市立豊中病院
理 事	荒木 年夫	株式会社大阪血清微生物研究所
理 事	田畑 泰弘	育和会記念病院
理 事	井戸田 篤	大阪府立成人病センター
理 事	出野 憲由	大阪労災病院
理 事	山田 真規子	サイトサポート・インスティテュート株式会社大阪オフィス
理 事	宮野 章	大阪府立母子保健総合医療センター
理 事	酒井 正容	生長会府中病院
理 事	栗本 幸司	竹村医学研究会小阪産病院
理 事	山西 八郎	大阪大学医学部附属病院
理 事	杉山 昌晃	市立岸和田市民病院
理 事	増田 詩織	近畿大学医学部附属病院
監 事	栗本 誠一	日本医学株式会社
監 事	山中 俊郎	浅田会計事務所

■平成24・25年度

会 長	運天 政五郎	橘会東住吉森本病院
副 会 長	竹浦 久司	きつこう会多根総合病院
副 会 長	吉本 勝美	仁真会白鷺病院
常務理事	高田 厚照	関西医科大学香里病院
常務理事	荒木 年夫	株式会社大阪血清微生物研究所
常務理事	田畑 泰弘	育和会記念病院
理 事	清水 隆之	市立豊中病院
理 事	井戸田 篤	大阪府立成人病センター
理 事	出野 憲由	大阪労災病院
理 事	山田 真規子	サイトサポート・インスティテュート株式会社大阪オフィス
理 事	宮野 章	大阪府立母子保健総合医療センター
理 事	酒井 正容	生長会府中病院
理 事	栗本 幸司	竹村医学研究会小阪産病院
理 事	山西 八郎	天理医療大学
理 事	杉山 昌晃	市立岸和田市民病院
理 事	増田 詩織	近畿大学医学部附属病院
理 事	久保田 芽里	大阪府立泉州救命救急センター
理 事	後藤 真理子	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
監 事	栗本 誠一	日本医学株式会社
監 事	山中 俊郎	浅田会計事務所

■平成26年度

会 長	運天 政五郎	橘会東住吉森本病院
副 会 長	竹浦 久司	きつこう会多根総合病院
副 会 長	吉本 勝美	仁真会白鷺病院
常務理事	高田 厚照	関西医科大学香里病院
常務理事	荒木 年夫	株式会社大阪血清微生物研究所
常務理事	田畑 泰弘	育和会記念病院
理 事	清水 隆之	市立豊中病院
理 事	井戸田 篤	大阪府立成人病センター
理 事	出野 憲由	大阪労災病院
理 事	山田 真規子	サイトサポート・インスティテュート株式会社大阪オフィス
理 事	宮野 章	大阪府立母子保健総合医療センター
理 事	酒井 正容	生長会府中病院
理 事	栗本 幸司	竹村医学研究会小阪産病院
理 事	山西 八郎	天理医療大学
理 事	杉山 昌晃	市立岸和田市民病院
理 事	増田 詩織	近畿大学医学部附属病院
理 事	久保田 芽里	大阪府立泉州救命救急センター
理 事	後藤 真理子	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
監 事	栗本 誠一	日本医学株式会社
監 事	柴 芳浩	柴 芳浩会計士補事務所

■平成27・28年度

会 長	竹浦 久司	きつこう会多根総合病院
副 会 長	吉本 勝美	仁真会白鷺病院
副 会 長	高田 厚照	関西医科大学附属滝井病院
常務理事	田畑 泰弘	育和会記念病院
常務理事	井戸田 篤	大阪府立成人病センター
常務理事	酒井 正容	生長会府中病院
理 事	清水 隆之	市立豊中病院
理 事	出野 憲由	大阪労災病院
理 事	山田 真規子	サイトサポート・インスティテュート株式会社大阪オフィス
理 事	山西 八郎	天理医療大学
理 事	杉山 昌晃	市立岸和田市民病院
理 事	増田 詩織	近畿大学医学部附属病院
理 事	久保田 芽里	近畿大学医学部附属病院
理 事	上田 一仁	市立芦屋病院
理 事	梶 勝史	真美会中野こども病院
理 事	井口 健	大阪医科大学購買・物流部
理 事	岡本 秀雄	一般財団法人住友病院
理 事	安保 浩二	大阪市立大学医学部附属病院
監 事	柴 芳浩	柴 芳浩会計士補事務所
監 事	荒木 年夫	株式会社大阪血清微生物研究所

日臨技永年職務奨励者表彰

■平成21年度 (51名)

久保田 義則	国立循環器病センター
立花 秀子	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
遠山 峰子	大阪赤十字病院
船坂 裕久	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
田畑 宏道	財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院
平原 道雄	独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院
中島 弘美	松下電器健康保健組合 松下記念病院
佐藤 康子	独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター
萩田 昌敬	医療法人寺西報恩会 長吉総合病院
荒田 昭二	特定医療法人景岳会 南大阪病院
水口 良章	YCH・エスアールエル ラボラトリー
山本 妃砂子	大阪鉄道病院
中埜 義信	株式会社 日本医学臨床検査研究所 堺支所
矢野 恵美子	大阪府済生会吹田医療福祉センター 大阪府済生会千里病院
本岡 敬一郎	自宅
高松 昌子	全国社会保険協会連合会 星ヶ丘厚生年金病院
池田 信弘	堺近森病院
田口 真澄	大阪府立公衆衛生研究所
多田 尚美	東大阪市環境衛生検査センター
藤岡 一也	大阪市立大学医学部附属病院
野田 昌志	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会吹田病院
三ノ浦 保彦	りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院
橋本 弘聖	渡辺外科病院
千田 育司	大阪府医師会保健医療センター
黒石 浩司	医療法人行岡医学研究会 行岡病院
魚野 弘子	社会福祉法人ペガサス 馬場記念病院
大谷 智司	大阪府赤十字血液センター
中辻 幸代	医療法人生長会 ベルランド総合病院
坂田 博	和泉市立病院
西本 裕朗	医療法人樫本会 樫本病院
新田 昭市	大阪市立総合医療センター
田中 大典	大阪赤十字病院
宮武 政美	NTT西日本大阪病院
糸井 壽一	大阪市立総合医療センター
高田 厚照	関西医科大学附属枚方病院
森 雅美	医療法人宝生会 PL病院
髭野 明美	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
松本 朝美	りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院
奥野 真紀	国家公務員共済組合連合会 大手前病院
野村 浩祐	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
赤利 宅史	健康保健組合連合会 大阪中央病院
山下 保喜	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター

佐野 隆宏	国立循環器病センター
吉本 勝美	特定医療法人仁真会 白鷺病院
田中 浩平	医療法人宝生会 PL病院
畠山 勝二	医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
辻井 祐治	大阪メディカルラボトリー
田中 喜寿	医療法人徳洲会 野崎徳洲会病院
古谷 修一	自宅
佐子 肇	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
小松 勝明	独立行政法人国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター

■平成22年度 (41名)

鷺田 晃	株式会社 メディック
田中 直美	大阪警察病院付属 臨床検査センター
吉川 和弘	財団法人大阪府警察協会 大阪警察病院
村瀬 幸生	パナソニック健康保険組合 松下記念病院
渡辺 清司	自宅
藤田 往子	近畿大学医学部附属病院
井上 順子	パナソニック健康保険組合 松下記念病院
中島 康仁	パナソニック健康保険組合 松下記念病院
渡辺 梨恵	独立行政法人労働者健康福祉機構 大阪労災病院
尾崎 俊也	医療法人財団幸循会 幸循会OBPクリニック
田上 展子	財団法人 住友病院
中田 裕二	東大阪市立総合病院
池田 桂子	大阪鉄道病院
奥野 浩一郎	財団法人 住友病院
綱井 保治	大阪府赤十字血液センター
八木 和子	自宅
緒方 太	医療法人良秀会 藤井病院
田頭 安德	株式会社 日本医学臨床検査研究所 堺支所
阪本 成年	医療法人和敬会 星田南病院
山口 和美	財団法人厚生団 大阪厚生年金病院
大窪 元子	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立急性期・総合医療センター
三好 寿満子	大阪府医師会保健医療センター
堀 勇二	大阪府赤十字血液センター
宮本 一郎	医療法人 松尾クリニック
高村 和秀	関西医科大学附属枚方病院
大西 修司	関西医科大学附属滝井病院
和泉 昌秀	日本郵政株式会社 大阪北通信病院
山中 正	医療法人財団医療福祉センター 阪南中央病院
樽口 明広	特定医療法人同仁会 耳原総合病院
竹浦 久司	社会医療法人きつこう会 多根総合病院
福塚 久美子	大阪府医師会保健医療センター
山原 さち子	大阪府医師会保健医療センター

河相 幸二	大阪メディカルラボラトリー
伊藤 園恵	独立行政法人国立病院機構 刀根山病院
田中 教雄	国立循環器病センター
小林 一三	大阪赤十字病院
今田 暢世	医療法人錦秀会 阪和病院
野入 勝代	財団法人 大阪市環境保健協会
福島 良一	財団法人船員保険会 大阪船員保険病院
小川 祐司	財団法人厚生団 大阪厚生年金病院
米田 伊作	市立吹田市民病院

■平成23年度 (59名)

藤田 幸久	独立行政法人 国立循環器病研究センター
野瀬 祥造	自宅
糸山 光磨	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
川原 幹夫	大阪歯科大学附属病院
上田 一仁	大阪医科大学附属病院
久掘 浩子	りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院
湯藤 信彦	自宅
澤田 幸美	市立堺病院
岡本 俊二	自宅
塩崎 尚子	パナソニック健康保険組合 松下記念病院
木谷 美紀	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
野村 明代	関西医科大学附属枚方病院
山田 真理	和泉市立病院
高橋 桂子	自宅
大西 正信	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
徳田 浩文	医療法人行岡医学研究会 行岡病院
佐野 みゆき	関西医科大学附属滝井病院
山下 哲次	医療法人仙養会 北摂総合病院
西川 寿子	恩賜財団済生会 大阪府済生会中津病院
清水 隆之	市立豊中病院
佐々木 雅子	高槻赤十字病院
杉林 幸代	関西医科大学附属枚方病院
谷岡 房子	大阪赤十字病院
竹田 英世	大阪赤十字病院
清水 恵子	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院
堀之内 恵三	大阪府三島救命救急センター
伊藤 信也	市立吹田市民病院
岡田 和敏	近畿大学医学部附属病院
井本 真由美	近畿大学医学部附属病院
吉田 美由紀	財団法人 田附興風会医学研究所 北野病院
奥島 浩子	大阪府医師会保健医療センター
福山 博文	財団法人 大阪市環境保健協会

松原 育子	NTT西日本大阪病院
三村 正明	市立枚方市民病院
樋口 眞理	財団法人 結核予防会大阪府支部 大阪病院
栄川 智子	りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院
巴山 相東	特定医療法人同仁会 耳原総合病院
田畑 泰弘	医療法人育和会 育和会記念病院
野中 貞子	財団法人 浅香山病院
櫛引 千恵子	医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
櫛引 健一	医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院
林 光江	西日本旅客鉄道 株式会社 健康増進センター
佐藤 孝子	なにわ病院
下泊 純子	堺市衛生研究所
中吉 裕子	国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院
岡本 久	関西医科大学附属枚方病院
平井 利彦	市立吹田市民病院
大畑 明	新金岡 豊川総合病院
伏見 佐知子	大阪府医師会保健医療センター
北澤 俊美	自宅
棚橋 俊夫	国家公務員共済組合連合会 大手前病院
山本 昌彦	大阪市立総合医療センター
若林 徹	自宅
小倉 眞紀	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立急性期・総合医療センター
井戸田 篤	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
吉村 英雄	大阪大学医学部附属病院
常松 裕子	自宅
今井 攻	医療法人白水会 紀泉病院
山本 倫子	財団法人 大阪がん予防検診センター

■平成24年度 (54名)

山中 淳	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
池田 明人	国家公務員共済組合連合会 大手前病院
藤野 恵三	大阪市立大学医学部附属病院
藤田 泉	
本中 由芳	全国社会保険協会連合会 星ヶ丘厚生年金病院
山下 直樹	全国社会保険協会連合会 星ヶ丘厚生年金病院
西田 雅美	全国社会保険協会連合会 星ヶ丘厚生年金病院
植田 洋子	一般財団法人 住友病院
西野 康幸	日本医療学院専門学校
根来 利次	
平島 瑞子	大阪府赤十字血液センター
宍道 あけみ	医療法人 慈心会 あびこ病院
岡本 美由紀	医療法人 信愛会 新生病院
城村 敬子	財団法人 大阪府警察協会 大阪警察病院

板井 雅英 NTT西日本大阪病院
堀田 なみえ
浜田 勝 医療法人 徳洲会 八尾徳洲会総合病院
泉 浩実
川住 勇 社会医療法人 きつこう会 多根総合病院
長尾 美和子 恩賜財団 済生会 大阪府済生会中津病院
吉岡 秀樹 関西医科大学附属枚方病院
今津 直子 恩賜財団 済生会 大阪府済生会中津病院
大仲 一善 社会医療法人 景岳会 南大阪病院
山田 東洋治 医療法人 美杉会 佐藤病院
田中 智美 市立藤井寺市民病院
櫛 輝美 医療法人 寿楽会 大野記念病院
梅田 晋治 大阪細胞病理研究所
木村 恵子 NTT西日本大阪病院
西川 晴子 財団法人厚生年金事業振興団 大阪厚生年金病院
筒井 園子 国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院
増田 詩織 近畿大学医学部附属病院
中西 真理子 財団法人 大阪市環境保健協会
岡村 綾子
河合 裕子 市立吹田市民病院
斎藤 いずみ 社会医療法人同仁会 耳原総合病院
三上 英子 医療法人財団 厚生会 高津病院
岩谷 泰之 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
酒井 正容 府中病院
井藤 博史 独立行政法人国立病院機構 刀根山病院
楠見 由美 大阪市立弘済院附属病院
荒木 年夫 株式会社 大阪血清微生物研究所
門脇 明子 国家公務員共済組合連合会 大手前病院
森 啓悟 社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院
大西 崇規 日本郵政株式会社 大阪北通信病院
辻岡 直良 独立行政法人 国立循環器病研究センター
市川 晴彦 大阪赤十字病院
森 律子 社会医療法人同仁会 耳原総合病院
尾崎 幸雄 大阪市立総合医療センター
上西 健之
石谷 育代 社会医療法人 愛仁会 高槻病院
堂下 誠一 淀川キリスト教病院
北里 実義 淀川キリスト教病院
小西 英子 パナソニック健康保健組合 松下記念病院
竹内 治朗 医療法人 協仁会 小松病院

■平成25年度 (43名)

菅原 敦子	大阪府医師会保健医療センター
岩崎 由恵	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院
久保田 浩	大阪市立大学医学部附属病院
谷口 直行	箕面市立病院
三原 勝利	星ヶ丘厚生年金病院
山田 晴美	一般財団法人 住友病院
森 裕一	泉州保健医薬研究所OML
池本 敏行	大阪医科大学附属病院
藪内 孝則	医療法人良秀会 藤井病院
伊勢 稚江子	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
岩津 浩子	医療法人仁泉会 MIクリニック
保科 直宏	自宅
松野 須美子	大阪府済生会富田林病院
安藤 加奈江	大阪市立大学医学部附属病院
大谷 哲司	関西医科大学香里病院
岡 知珠	近畿大学医学部附属病院
新井 由紀江	医療法人 佑成会 西大阪病院
尾蔵 美樹	市立吹田市民病院
小椋 恵美子	社会医療法人 阪南医療福祉センター 阪南中央病院
押野 正次	大阪府赤十字血液センター
堀埜 靖志	(一社) オリエンタル労働衛生協会 大阪支部メディカルクリニック
澤竹 正浩	大阪府立母子保健総合医療センター
山六 紀彦	自宅
蛇ヶ崎 美和	自宅
三栖 弘三	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
榊 藤枝	大阪市立総合医療センター
楠見 智子	日本赤十字社 近畿ブロック血液センター
寺西 康	医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院
中山 俊弘	自宅
池尾 明廣	(株) 日本医学臨床検査研究所 堺ラボ
栗本 誠一	日本医学 (株)
石橋 芳元	自宅
白木 正人	自宅
小林 一久	特定医療法人渡辺医学会 桜橋渡辺病院
神田 操	市立堺病院
芝池 浩	医療法人 垣谷会 明治橋病院
北野 千鶴	医療法人孟人会 摂南総合病院
田伏 保子	大阪厚生年金病院
福田 篤久	大阪府立泉州救命救急センター
大井 茂昭	大阪府済生会中津病院
西川 美智也	医療法人正雅会 辻本病院
芥川 和彦	自宅

岡崎 正利 生協加納診療所

■平成26年度 (58名)

岡田 伊弘 独立行政法人 国立病院機構 近畿中央胸部疾患センター
山下 己紀子 なかじま糖尿病内科
森脇 貴美 独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
齊藤 孝子 市立堺病院
辻本 章 パナソニック健康保険組合 松下記念病院
幸山 佳津美 独立行政法人 国立循環器病研究センター
築山 あゆみ 大阪警察病院附属 臨床検査センター
福島 成之 自宅
奥田 久実子 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター
栗本 幸司 医療法人 竹村医学研究会 小阪産病院
浅沼 晴雄 医療法人 橘会 東住吉森本病院
前野 健一郎 大阪赤十字病院
小林 周一 一般財団法人 大阪府結核予防会 相談診療所
池田 耕一 医療法人 健昌会 福島健康管理センター
高岡 理恵 自宅
山田 有紀恵 大阪市立総合医療センター
桑山 和哉 社会医療法人 景岳会 南大阪病院
藤本 美也子 社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
野中 喜代美 市立岸和田市民病院
小井 俊明 独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院
松本 光浩 市立吹田市民病院
西村 公一 株式会社 東邦微生物病研究所
今田 宏之 自宅
森 政章 自宅
長田 操 公益財団法人 浅香山病院
佐藤 かおり 近畿大学医学部附属病院
峯 佳子 自宅
柳井 昌子 自宅
山本 いづみ 社会福祉法人 大阪暁明館病院
山田 智 大阪市健康局 保健衛生検査所
高橋 義弘 大阪医科大学附属病院
野口 教彦 大阪警察病院附属 臨床検査センター
洞口 清江 自宅
川井 和久 大阪府茨木保健所
東山 智宣 大阪医科大学附属病院
畑中 重克 府中病院
山本 和史 医療法人 博愛会 博愛茨木病院
北中 直行 医療法人 北斗会 ほくとクリニック病院
山本 洋嘉 介護老人保健施設 竜間之郷
岡本 知恵子 公益財団法人 田附興風会 医学研究所北野病院

前原 孝夫	医療法人 阪急共栄会 北阪急ビル診療所
葆積 照江	大阪府建築健康保険組合 健康管理センター
山本 明美	大阪市立総合医療センター
林 孝昭	地方独立行政法人 りんくう総合医療センター
大谷 かおり	社会医療法人 協和会 北大阪病院
肱岡 澄子	医療法人 仙養会 北摂総合病院
名嘉 正勝	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
米村 里美	医療法人 仙養会 北摂総合病院
松島 裕美	関西医科大学附属枚方病院
山内 弥生	独立行政法人 労働者健康福祉機構 大阪労災病院
藤本 直樹	医療法人 清恵会 清恵会病院
長谷川 京美	医療法人 徳洲会 八尾徳洲会総合病院
金子 正彦	大阪赤十字病院
宮内 万知子	公益財団法人 田附興風会 医学研究所北野病院
山崎 みどり	公益財団法人 田附興風会 医学研究所北野病院
竹内 和美	医療法人 南谷継風会 南谷クリニック
栢山 武寛	自宅
辻本 武寛	自宅

■平成27年度 (57名)

藤井 啓嗣	箕面市立病院
石川 純	株式会社 日本医学臨床検査研究所
西戸 温美	医療法人 徳洲会 岸和田徳洲会病院
山口 耕一	大阪警察病院付属 臨床検査センター
森井 均	独立行政法人 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
松本 浩靖	日本医学株式会社
北川 富規子	公益財団法人 浅香山病院
東野 智富美	社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
井門 浩美	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
小椋 聖子	社会福祉法人恩賜財団済生会 大阪府済生会野江病院
上村 浩一	自宅
田中 伊都子	独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院
下山 正悟	NTT西日本大阪病院
隅 公則	NTT西日本大阪病院
下瀬 雅士	一般財団法人 大阪府結核予防会 相談診療所
田中 玲伊子	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立精神医療センター
小倉 朋可	医療法人 春秋会 城山病院
岸野 好純	近畿大学医学部附属病院
河野 ふみえ	近畿大学医学部附属病院
井ノ上 健司	自宅
中村 由光	医療法人 医誠会 城東中央病院
竹村 真俊	独立行政法人 地域医療機能推進機構 大阪病院
奥村 博	独立行政法人 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

稲田 孝	独立行政法人 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
山本 昌子	医療法人 大塚山会 オノクリニック
石田 幸子	一般財団法人 大阪府警察協会 北大阪警察病院
斎藤 晴子	独立行政法人国立病院機構 刀根山病院
水本 治	自宅
川澄 浩美	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
大和 章宏	地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
志水 康郎	自宅
古川 浩司	公益財団法人 日本生命済生会 附属 日生病院
松野 徳視	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
中村 雅美	自宅
藤原 通恵	関西医科大学附属滝井病院
杉山 恵美子	大阪府泉佐野保健所
田中 伸治	ダイハツ保健センター
河内山 淳子	市立ひらかた病院
中岡 昇	自宅
竹下 仁	財団法人 大阪府三島救命救急センター
河田 夫美代	市立池田病院
山口 善美	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
森島 英和	大阪鉄道病院
井上 太	NTT西日本大阪病院
吉竹 紀子	医療法人 さくら会 さくら会病院
押田 眞知子	自宅
浦田 充則	医療法人 宝生会 P L 病院
砂場 麻里	市立豊中病院
濱 研一	自宅
津田 健治	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター
藤田 良生	独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター
山本 章史	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
南 千枝子	社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
泉 美由紀	自宅
大橋 美千代	総合医療サービス株式会社
升田 八重	自宅
岡村 貴美子	自宅

■平成28年度 (65名)

丸山 道也	社会医療法人寿楽会 大野記念病院
谷川 崇	府中病院
亀井 敦子	自宅
浅野 恵子	医療法人 徳洲会 岸和田徳洲会病院
川端 正俊	大阪市立総合医療センター
三枝 光代	近畿中央胸部疾患センター
吉田 潤子	大阪警察病院

西川 昌伸	パナソニック健康保険組合 松下記念病院
田中 秀磨	大阪府立成人病センター
清松 佐和子	天理医療大学
仁木 素子	関西医科大学香里病院
辻 雅子	一般財団法人 大阪府結核予防会
上野山 正人	(株) 日本医学臨床検査研究所 堺ラボ
下瀬 雅子	自宅
伊沢 久美子	社会医療法人 景岳会 南大阪病院
中川 登美子	自宅
佐野 亜由美	社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
松本 恭一	ミクリ免疫研究所株式会社
盛井 康夫	泉大津市立病院
吉富 一恵	近畿大学医学部附属病院
鱸 美行	淀川キリスト教病院
石嶺 伊津子	コーナンメディカル鳳総合健診センター
河嶋 公江	医療法人 豊済会 小曾根病院
清水 俊宏	関西医科大学附属病院
森 真美	一般財団法人 住友病院
川口 敦志	日本医学 (株)
冬木 裕美	大阪掖済会病院
江口 富夫	国立病院機構 大阪南医療センター
谷 敏郎	自宅
三谷 真理	自宅
今里 勝紀	東大阪市立総合病院
杉本 守隆	大阪メディカルラボトリー
宮原 佳子	(財) 田附興風会医学研究所 北野病院
今井 順子	若草第一病院
長尾 紀子	大阪府医師会保健医療センター
石部 裕子	友紘会総合病院
大西 秀行	国立病院機構 大阪南医療センター
野口 智幸	医療法人協和会 協和会病院
正木 友二	労働者健康福祉機構 大阪労災病院
越村 みちよ	自宅
鈴木 玲子	関西医科大学附属病院
吉本 茂	自宅
大塚 千代美	市立豊中病院
申 和義	株式会社 ビー・エム・エル BML新大阪
中野 恭子	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター
所 知都子	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
後藤 真理子	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター
野口 菊子	自宅
渡 衛	自宅
北野 雅之	大阪細胞病理研究所

谷 恵理子	大阪府立急性期・総合医療センター
平尾 友里	社会医療法人 同仁会 耳原総合病院
竹浦 雅代	社会医療法人 祐生会 みどりヶ丘病院
前田 富士子	特定医療法人 仁真会 白鷺病院
杉原 末子	大正民主診療所
大下 弘介	堺市立重症心身障害者（児）支援センターベルデさかい
萬雲 正清	箕面市立病院
廣川 恵子	大阪医科大学附属病院
羽間 久子	自宅
藤原 拓樹	(株) LSIメディエンス ラボソリューションセンター西日本推進部
川辺 悦子	医療法人 ガラシア会 ガラシア病院
三村 明弘	労働者健康福祉機構 大阪労災病院
井本 智子	社会医療法人 愛仁会 高槻病院
小宮山 恭弘	森ノ宮医療大学
石川 薫	自宅

受賞

■厚生労働大臣表彰

平成23年5月 今井 宣子、運天 政五郎、竹浦 久司

■憲法記念日知事表彰

平成25年 高田 厚照、清水 隆之

■大阪府知事表彰

平成28年9月 荒木 年夫、田畑 泰弘、井戸田 篤、出野 憲由、
酒井 正容、宮野 章、栗本 誠一

■感謝状表彰

平成21年3月 三上 英子、中条 俊一、上田 恒平、米田 幸司、吉岡 利成
平成24年3月 背古 和人、前田 富士子、北川 富規子、夏秋 知佳
平成26年5月 竹下 仁
平成28年5月 北川 篤、森 啓悟

■瑞宝双光章

平成23年 春 柳瀬 彦三
平成26年 秋 小寺 健一

■緒方富雄賞

平成27年 井戸田 篤

■福見秀雄賞

平成22年5月 村上 澄子

■小島三郎記念技術賞

平成25年5月 池本 敏行
平成26年5月 上田 一仁

総会

■平成21年度 第1回定期総会(平成20年度 決算総会)

平成21年5月28日(水)19:00~20:00

大阪産業創造館 6階会議室 E

議長 杉山 昌晃(市立岸和田市民病院)、池田 勝美(城山病院)

正会員数3123名(出席数30名、委任状2404名 計2434名)

■平成21年度 第2回定期総会(平成22年度 予算総会)

H22年3月20日(土)15:40~16:50

大阪産業創造館 5階研修室A・B

議長 片山 智永子((株)大阪血清微生物研究所)、真鍋 史朗(京阪病院)

正会員数3009名(出席数60名、委任状1990名 計2050名)

■平成22年度 第1回定期総会(平成21年度 決算総会)

平成22年5月27日(水)19:00~20:00

大阪産業創造館 6階会議室 E

議長 山内 一浩(市立豊中病院)、片山 智永子((株)大阪血清微生物研究所)

正会員数2856名(出席数31名、委任状2074名 計2105名)

■平成22年度 第2回定期総会(平成23年度 予算総会)

23年3月24日(土)19:00~20:00

大阪府臨床検査技師会事務所

議長 山本 裕之(大阪赤十字病院)、山内 一浩(市立豊中病院)

正会員数3013名(出席数30名、委任状2062名 計2092名)

■平成23年度 第1回定期総会(平成22年度決算総会)

平成23年5月26日(水)19:00~20:00

大阪府臨床検査技師会事務所

議長 池田 勝美(城山病院)、山本 裕之(大阪赤十字病院)

正会員数2710名(出席数28名、委任状2069名 計2097名)

■平成23年度 臨時総会

平成23年10月13日(木)18:30~19:00

大阪府臨床検査技師会事務所

議長 小宮山 恭弘(大阪鉄道病院)

正会員数3189名(出席数22名、委任状2380名 計2402名)

■平成23年度 第2回定期総会(平成24年度 予算総会)

平成24年3月22日(木)19:00~20:00

大阪府臨床検査技師会事務所

議長 伊東 千絵(小阪産病院)、堀田 真希(大阪大学医学部附属病院)

正会員数3057名(出席数32名、委任状2140名 計2172名)

■平成24年度 第1回定期総会(平成23年度 決算総会)

24年5月24日(木)19:00~20:00
大阪府臨床検査技師会事務所
議長 夏秋 知佳(自宅会員)、伊東 千絵(小阪産病院)
正会員数3094名(出席数28名、委任状2078名 計2106名)

■平成24年度 第1回定期総会(平成25年度 予算総会)

平成25年3月28日(木)19:00~20:00
大阪府臨床検査技師会事務所
議長 松倉 嘉士((株)大阪血清微生物研究所)、夏秋 知佳(自宅会員)
正会員数3071名(出席数34名、委任状2200名 計2234名)

■平成25年度 第1回定期総会(平成24年度決算総会)

平成25年5月23日(木)19:00~20:00
大阪府臨床検査技師会事務所
議長 安江 智美(大阪府呼吸器・アレルギー医療センター)、松倉 嘉士((株)大阪血清微生物研究所)
正会員数3107名(出席数30名、委任状2158名 計2188名)

■公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

平成25年度 第1回定時総会

平成25年10月24日(木)19:00~20:00
大阪府臨床検査技師会事務所
議長 上遠野 明(南大阪病院)、安江 智美(大阪府呼吸器・アレルギー医療センター)
正会員数3179名(出席数33名、委任状2204名 計2237名)

■公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

平成25年度 臨時総会

平成26年3月27日(木)19:00~20:00
大阪府臨床検査技師会事務所
議長 堀田 真希(大阪大学医学部附属病院)、上遠野 明(南大阪病院)
正会員数3184名(出席数24名、委任状2110名 計2134名)

■公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

平成26年度 第1回定時総会

平成26年5月22日(木)19:00~20:00
大阪府臨床検査技師会事務所
議長 岡本 秀雄(住友病院)、堀田 真希(大阪大学医学部附属病院)
正会員数3179名(出席数31名、委任状2127 計2158名)

■公益社団法人 大阪府臨床検査技師会

平成27年度第1回定時総会

平成27年5月28日(木)19:00~20:30
大阪府臨床検査技師会事務所
議長 下本 知子(小阪産病院)、川井 和久(大阪府茨木保健所)
正会員数3356名(出席数35名、委任状2293名 計2328名)

■公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成28年度 定時総会

平成28年5月26日(木)19:00~20:00

大阪府臨床検査技師会事務所

議長 是永 愛(堺市立総合医療センター)、下本 知子(小阪産病院)

正会員数3505名(出席数37名、委任状2189名 計2226名)

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
創立65周年・法人設立30周年記念誌

年輪 VI

平成29年4月31日発行

編集委員長 吉本 勝美
編集委員 運天 政五郎 荒木 年夫 山田 真規子
三上 英子 真鍋 史朗 大江 泰浩
岡部 文雄 杉山 昌晃 岡本 美由紀
伊東 千絵 竹山 佳織 岩崎 和子
仲野 けい子

発行責任者 運天 政五郎
発行所 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
〒543-0018 大阪市天王寺区空清町8-33
大阪府医師協同組合東館 4階
TEL (06) 6763-5652
<http://www.osaka-amt.or.jp/>

制作 フジイ・カラープロ株式会社
〒546-0043 大阪市東住吉区駒川1-14-26
TEL (06) 6714-8587

年輪

VI

The 65th anniversary of establishment
The 30th anniversary of corporate establishment